

基本計画書

基本計画										
事項		記入欄						備考		
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者		がっこうがじん けんじんがくえん 学校法人 福井仁愛学園								
フリガナ大学の名称		じんがく 仁愛大学								
大学本部の位置		福井県越前市大手町3字1番地1								
大学の目的		教育基本法および学校教育法に遵い、すべてのいのちのつながりの尊重と相互敬愛の仏教精神を基本とし、豊かな人間性の涵養と専門の学芸の教授研究を通して、社会の発展に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的		人間学部心理学科、人間学部コミュニケーション学科及び人間生活学部健康栄養学科については、編入学試験の受験者数の実態に即し、編入学定員を無しとする。ただし、定員に欠員が生じている場合に限り、欠員補充として編入学試験を実施のうえ、若干名の編入学者の受け入れを行う。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	人間学部心理学科	4年	95人	3年次0人 (2)	380人 (384)	学士(心理学)	文学関係	令和7年4月第3年次	福井県越前市大手町3字1番地1	
	コミュニケーション学科	4年	75人	0人 (2)	300人 (304)	学士(コミュニケーション学)	社会学・社会福祉学関係、文学関係	令和7年4月第3年次	同上	
	人間生活学部健康栄養学科	4年	75人	0人 (2)	300人 (304)	学士(栄養学)	家政関係	令和7年4月第3年次	同上	
	計									
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計					
		科目	科目	科目	科目	単位				
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数5人
新設	人間学部 心理学科	教授 8人 (8)	准教授 4人 (4)	講師 1人 (1)	助教 0人 (0)	計 13人 (13)	2人 (2)	14人 (14)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8人 (8)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	13人 (13)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)				
	小計（a～b）	8人 (8)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	13人 (13)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)				
	計（a～d）	8人 (8)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	13人 (13)				

新設分	人間学部	コミュニケーション学科	5 (5)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	17 (17)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	13 (13)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	5 (5)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	13 (13)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	5 (5)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	13 (13)				
	人間生活学部	健康栄養学科	9 (9)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	5 (5)	8 (8)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	13 (13)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	小計（a～b）	9 (9)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	13 (13)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	9 (9)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	13 (13)					
計			22 (22)	10 (10)	7 (7)	0 (0)	39 (39)	7 (7)	39 (39)	

既 設 分	人間生活学部 子ども教育学科		人 7 (7)	人 5 (5)	人 1 (1)	人 0 (0)	人 13 (13)	0 (0)	31 (31)	人 大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）		7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）		7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (13)			
	計			7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)			
合 計			29 (29)	15 (15)	8 (8)	0 (0)	52 (52)	7 (7)	70 (70)	
職 種		専 属			その他			計		
事 務 職 員		人 27 (27)			人 0 (0)			人 27 (27)		
技 術 職 員		0 (0)			0 (0)			0 (0)		
図 書 館 職 員		1 (1)			0 (0)			1 (1)		
そ の 他 の 職 員		1 (1)			0 (0)			1 (1)		
指 導 補 助 者		0 (0)			0 (0)			0 (0)		
計		29 (29)			0 (0)			29 (29)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用			計		
	校 舎 敷 地	86,111.82㎡	0.00㎡		0.00㎡			86,111.82㎡		
	そ の 他	20,798.45㎡	0.00㎡		0.00㎡			20,798.45㎡		
	合 計	106,910.27㎡	0.00㎡		0.00㎡			106,910.27㎡		
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用			計		
		19,100.35㎡ (19,100.35㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)		0.00㎡ (0.00㎡)			19,100.35㎡ (19,100.35㎡)		
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	室		教 員 研 究 室			室		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具	標本	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕		点	点		
		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
		㎡		㎡		㎡				

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	研究費は650千円 まで増額あり	
		教員 1 人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円				
		共同研究費等		6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円				
		図 書 購 入 費	17,710千円	17,500千円	17,500千円	17,500千円	17,500千円				
		設 備 購 入 費	16,263千円	46,000千円	46,000千円	46,000千円	46,000千円				
		学生 1 人当り納付金		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	図書には電子ジャーナル、データベースの管理費を含む	
		心理学科・コミュニケーション・子ども教育学科		1,110千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円				
		健康栄養学科		1,210千円	1,210千円	1,210千円	1,210千円				
学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称		仁愛大学								
	学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地	
	人間学部		年	人	年次人	人		倍		福井県越前市大手町3字1番地1	
	心理学科		4	170	4	688		0.85			
	コミュニケーション学科		4	95	2	384	学士（心理学）	0.85	平成13年度		
	人間生活学部		4	75	2	304	学士（コミュニケーション学）	0.86	平成13年度		
	健康栄養学科		4	145	2	584		0.73			
	子ども教育学科		4	75	2	304	学士（栄養学）	0.72	平成21年度		
	人間学研究科		4	70	-	280	学士（教育学）	0.75	平成21年度		
	臨床心理学専攻		2	12	-	24					
臨床心理学専攻		2	12	-	24	修士（臨床心理学）	1.17	平成17年度			
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称		仁愛女子短期大学								令和6年度より学生募集停止（生活科学学科食物栄養専攻）
	学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地	
	生活科学学科		年	人	年次人	人		倍		福井県福井市天池町43字1番地1	
	生活情報デザイン専攻		2	100	-	200		0.87	昭和40年度		
	食物栄養専攻		2	100	-	200	短期大学士（生活科学）	0.87	令和3年度		
	幼児教育学科		2	-	-	-	短期大学士（生活科学）	-	昭和44年度		
幼児教育学科		2	100	-	200	短期大学士（幼児教育）	0.67	昭和41年度			
附属施設の概要			名称 仁愛大学附属心理臨床センター 目的 心理臨床の実際に関わる研究を深め、その成果を本学の教育に還元するとともに、社会一般の相談援助を通して地域社会に貢献することを目的とする。 所在地 福井県越前市大手町3字1番地1 設置年月 平成15年4月1日 規模等 室数・・・相談室を中心とした総数10室 総面積・・・440㎡								

(注)

1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。

3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。

4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

7 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

基本計画書 - 4 -

学校法人福井仁愛学園 収容定員変更に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
仁愛大学				仁愛大学				
人間学部		3 年次		人間学部		3 年次		
心理学科	95	2	384	心理学科	95	0	380	編入学定員変更 (△4)
コミュニケーション学科	75	2	304	コミュニケーション学科	75	0	300	編入学定員変更 (△4)
人間生活学部		3 年次		人間生活学部		3 年次		
健康栄養学科	75	2	304	健康栄養学科	75	0	300	編入学定員変更 (△4)
子ども教育学科	70	-	280	子ども教育学科	70	-	280	
計	315	6	1272	計	315	0	1260	
仁愛大学大学院				仁愛大学大学院				
人間学研究科				人間学研究科				
臨床心理学専攻 (M)	12	-	24	臨床心理学専攻 (M)	12	-	24	
計	12		24	計	12		24	
仁愛女子短期大学				仁愛女子短期大学				
生活科学学科				生活科学学科				
生活情報デザイン専攻	100	-	200	生活情報デザイン専攻	100	-	200	令和6年4月学生募集停止
食物栄養専攻	0	-	0					
幼児教育学科	100	-	200	幼児教育学科	100	-	200	
計	200		400	計	200		400	

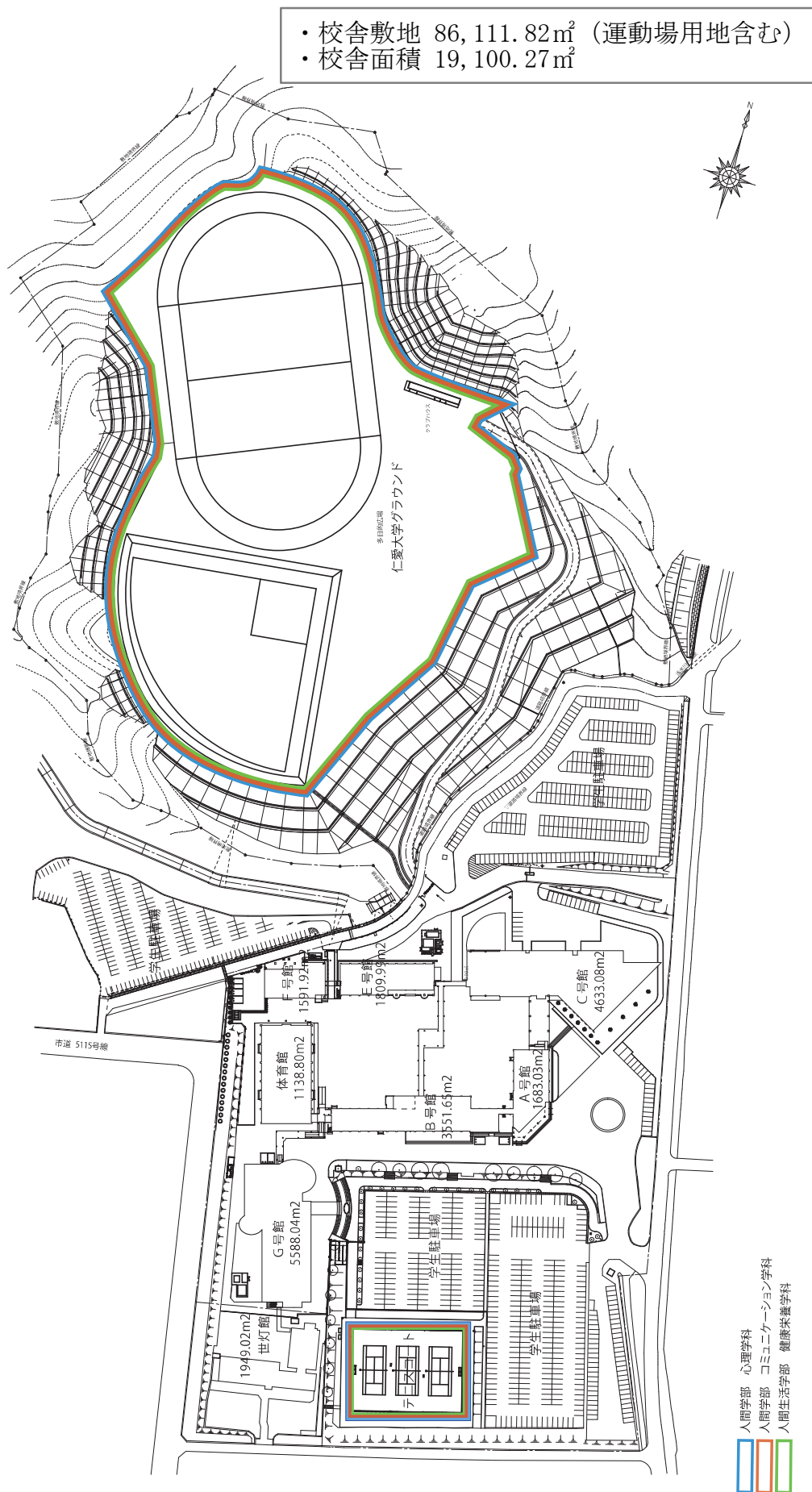
(1) 都道府県内における位置関係



(2) 最寄りの駅からの距離や交通機関がわかる図面



(3) 校舎、運動場等の配置図



(4) 校舎の平面図

建物用途別総面積一覧表

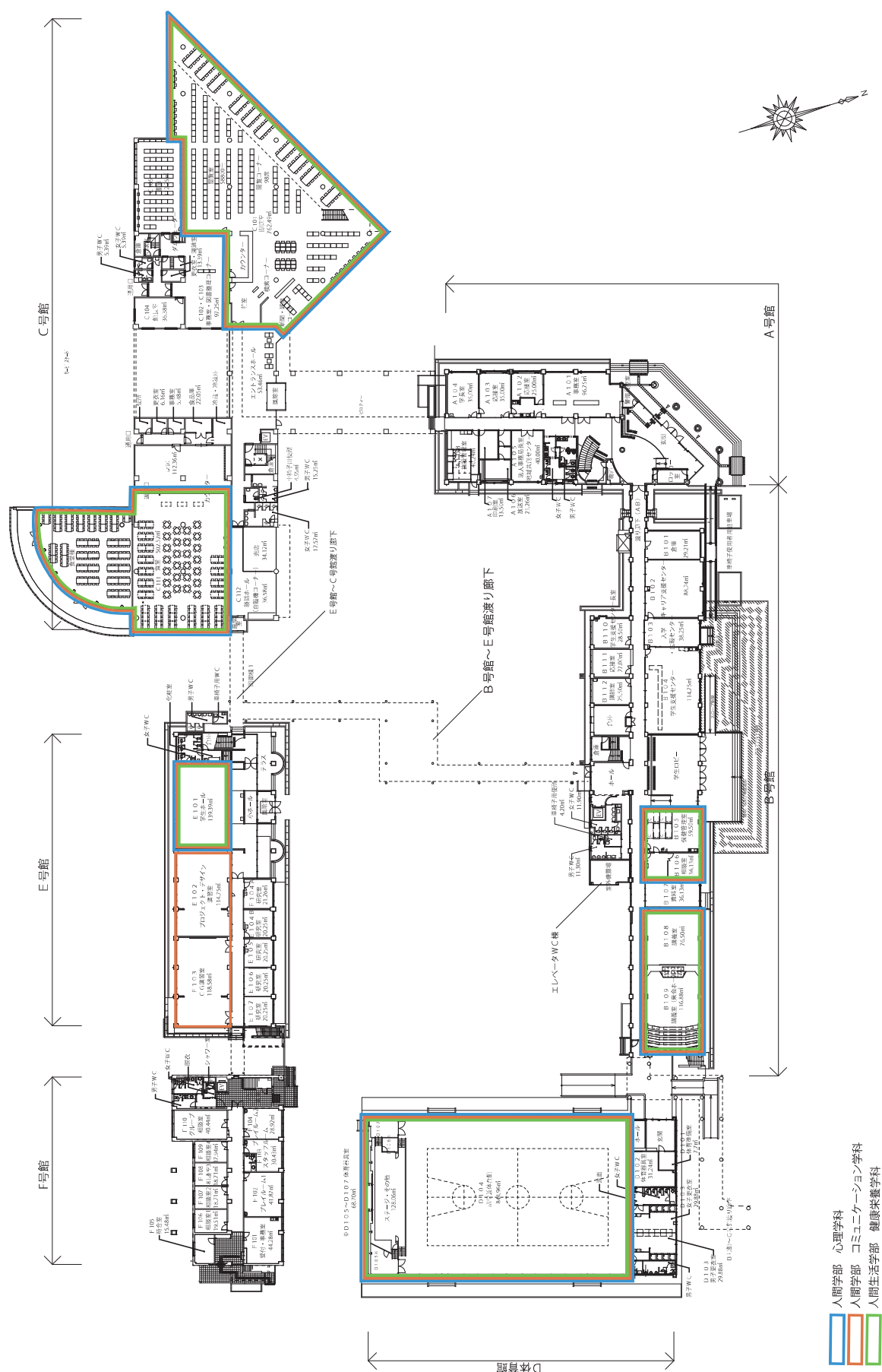
<大学>

用 途 別			A～F号館	G号館	世灯館	建 物 合 計
校 舎	一 般 校 舎	講 義 室・演 習 室	2,956.09㎡	1,335.98㎡		4,292.07㎡
		実 験 室・実 習 室	809.66㎡	1,774.82㎡		2,584.48㎡
		研 究 室	1,281.17㎡	714.70㎡		1,995.87㎡
		計	5,046.92㎡	3,825.50㎡		8,872.42㎡
	図 書 館		2,058.69㎡			2,058.69㎡
	その他		6,458.80㎡	1,710.44㎡		8,169.24㎡
	合 計		13,564.41㎡	5,535.94㎡		19,100.35㎡

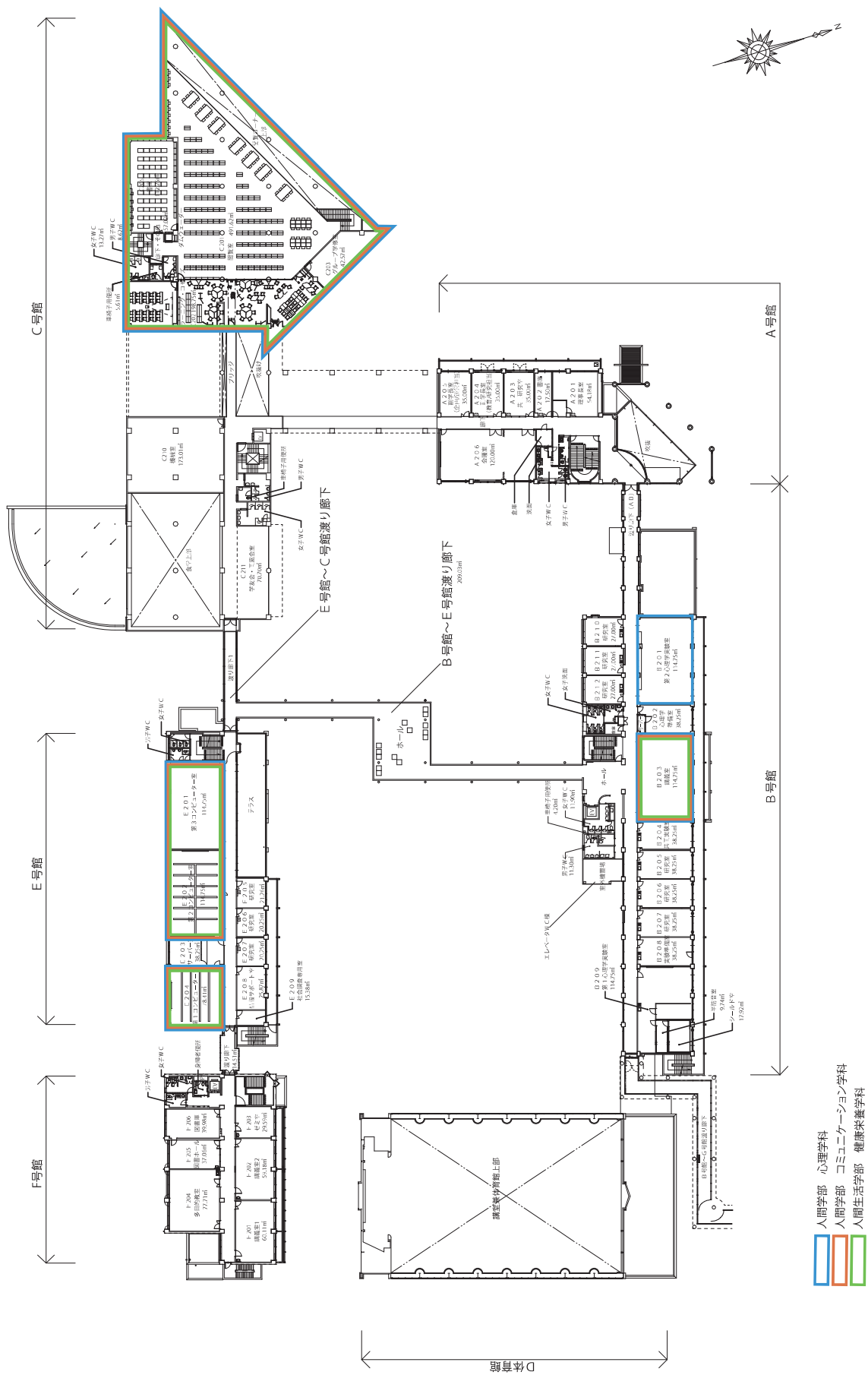
附 属 施 設	体 育 館 兼 講 堂(D号館)		1,140.42㎡			1,140.42㎡
	課外活動		139.39㎡	91.17㎡	1,949.02㎡	2,179.58㎡
	その他		153.76㎡	28.08㎡		181.84㎡
	合 計		1,433.57㎡	119.25㎡	1,949.02㎡	3,501.84㎡

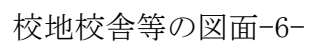
総 合 計			14,997.98㎡	5,655.19㎡	1,949.02㎡	22,602.19㎡
-------	--	--	------------	-----------	-----------	------------

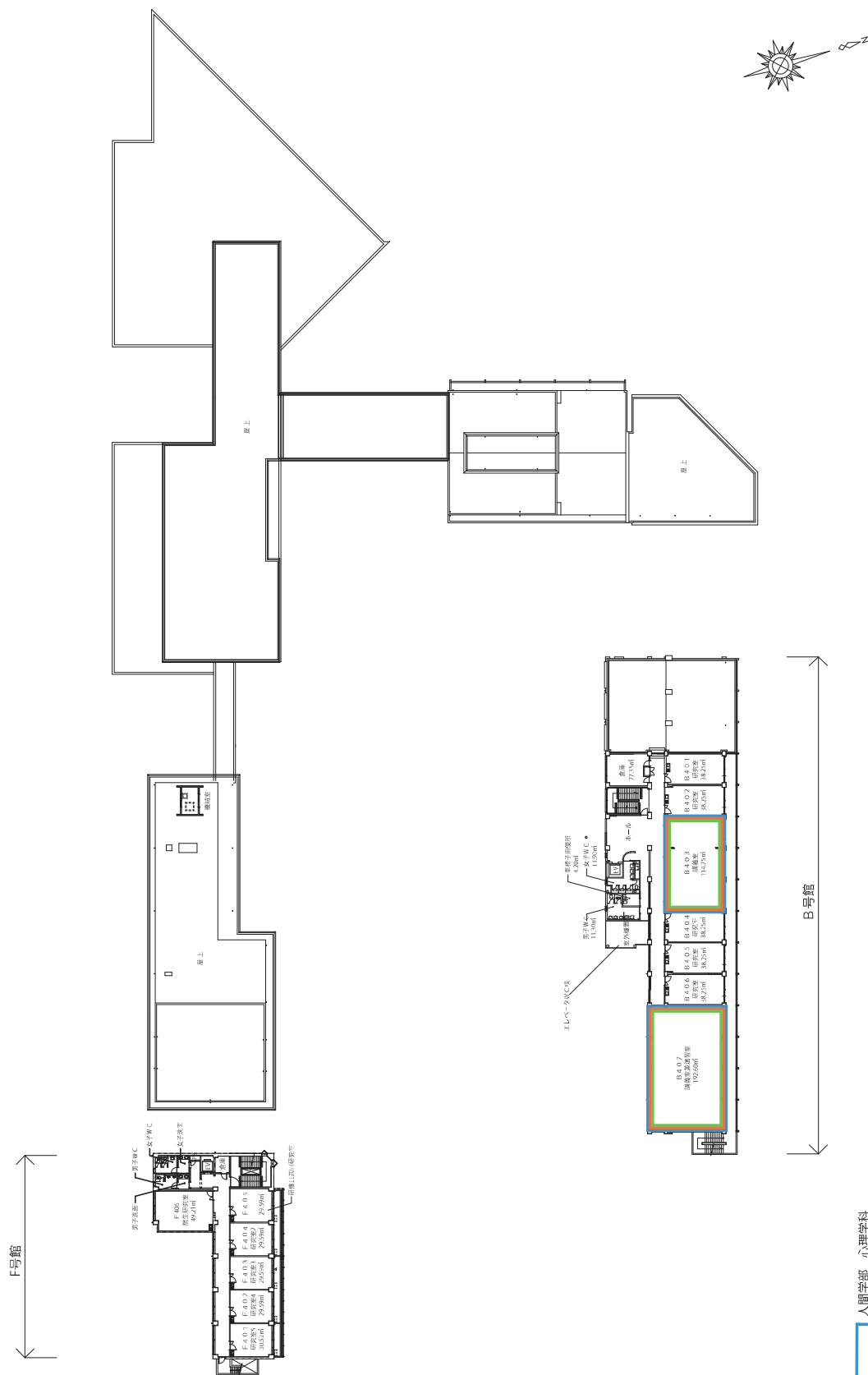
(4) - 1 校舎の平面図 (A～F号館)

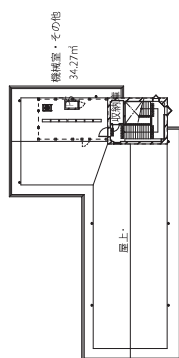


校地校舎等の図面-5-









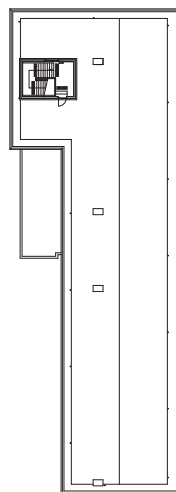
E号館 PH屋根



B号館 PH屋根



B号館 PH2階

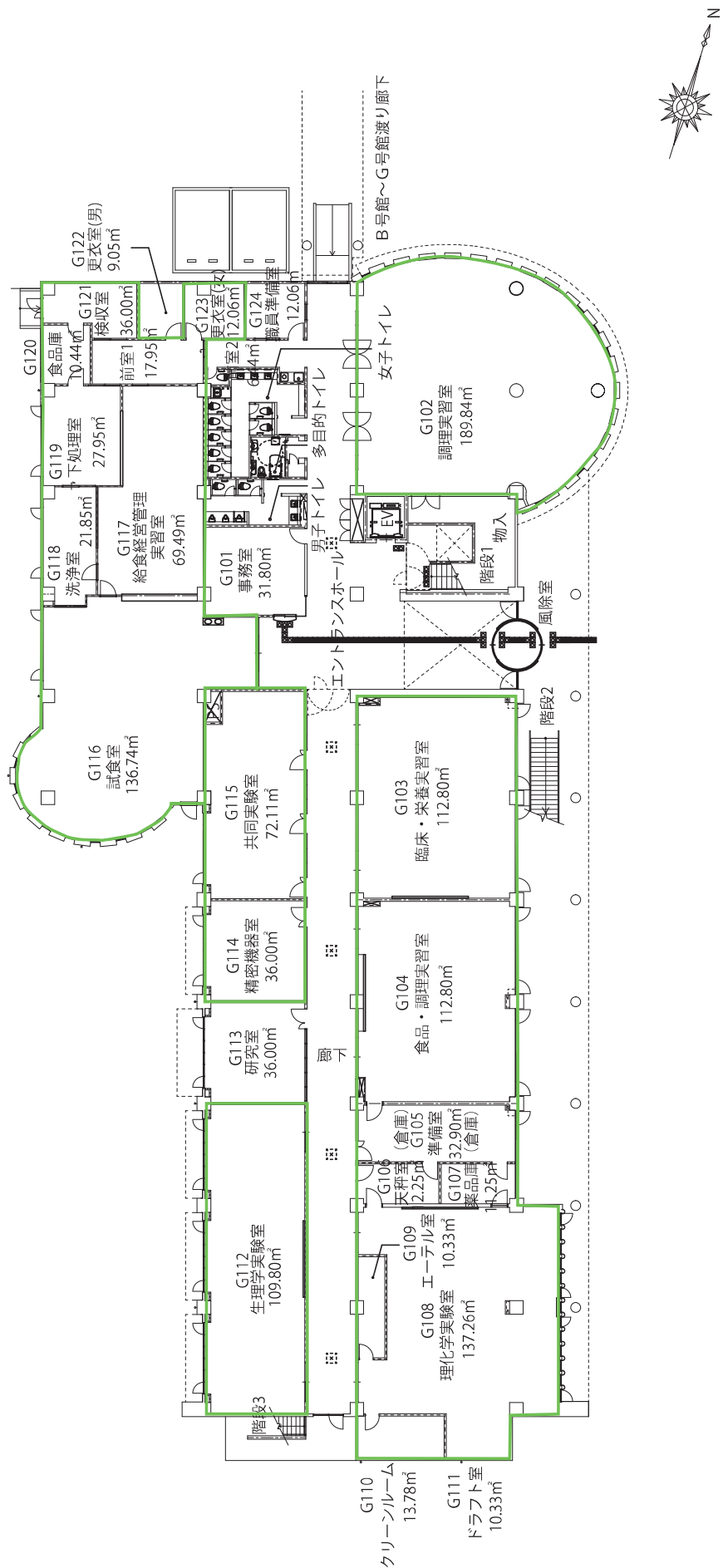


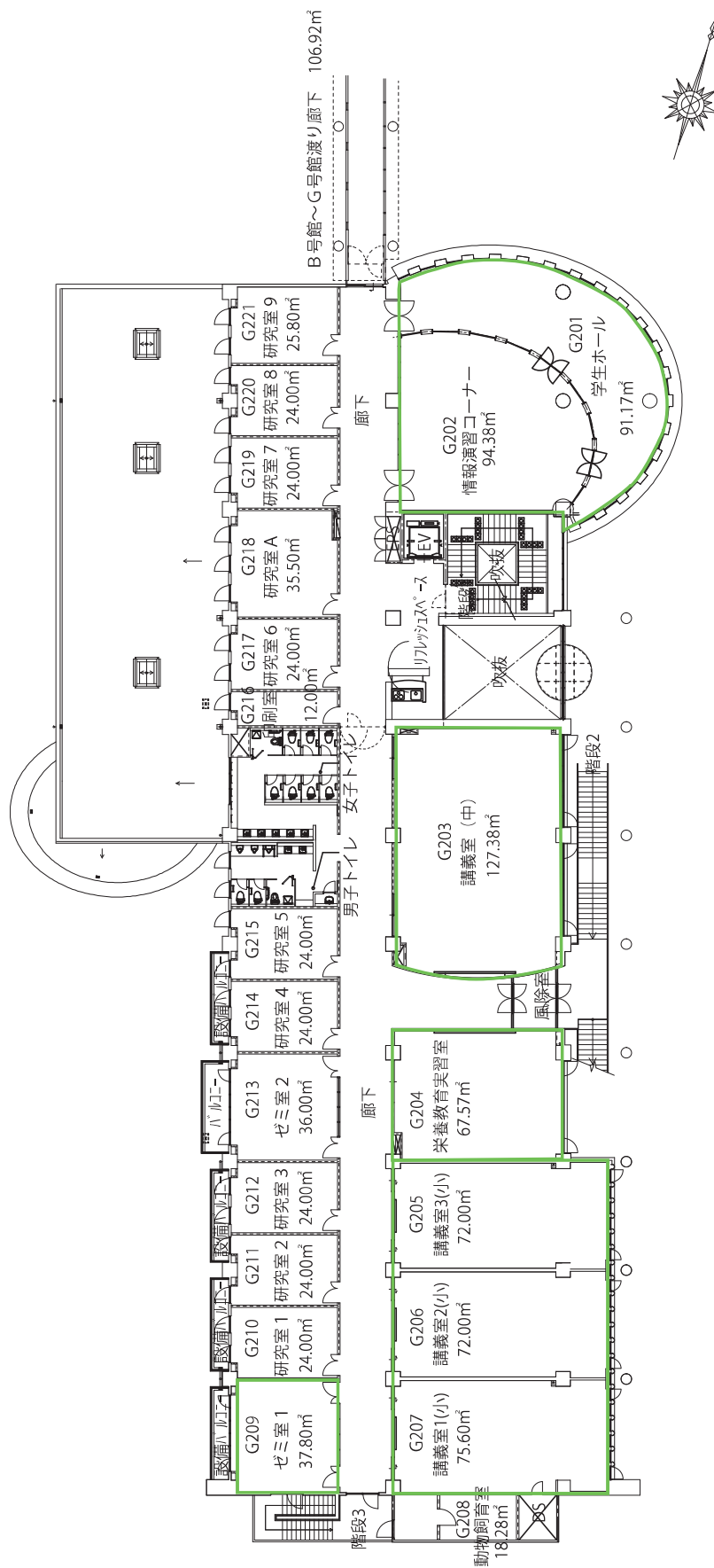
- 人間学部 心理学科
- 人間学部 コミュニケーション学科
- 人間生活学部 健康栄養学科

仁愛大学

5・PH階平面図

(4) - 2 校舎の平面図 (G号館)





- 人間学部 心理学科
- 人間学部 コミュニケーション学科
- 人間生活学部 健康栄養学科

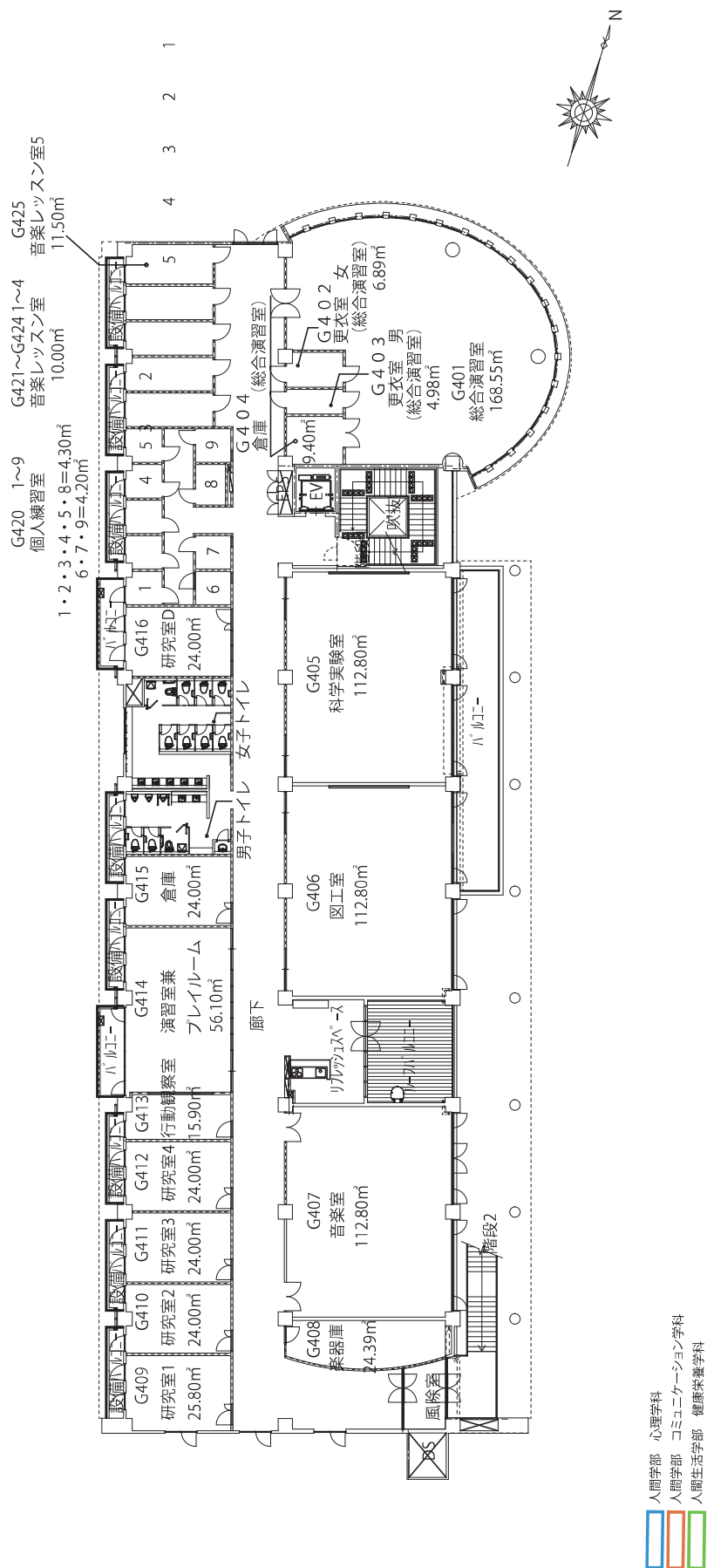
G号館2階平面図

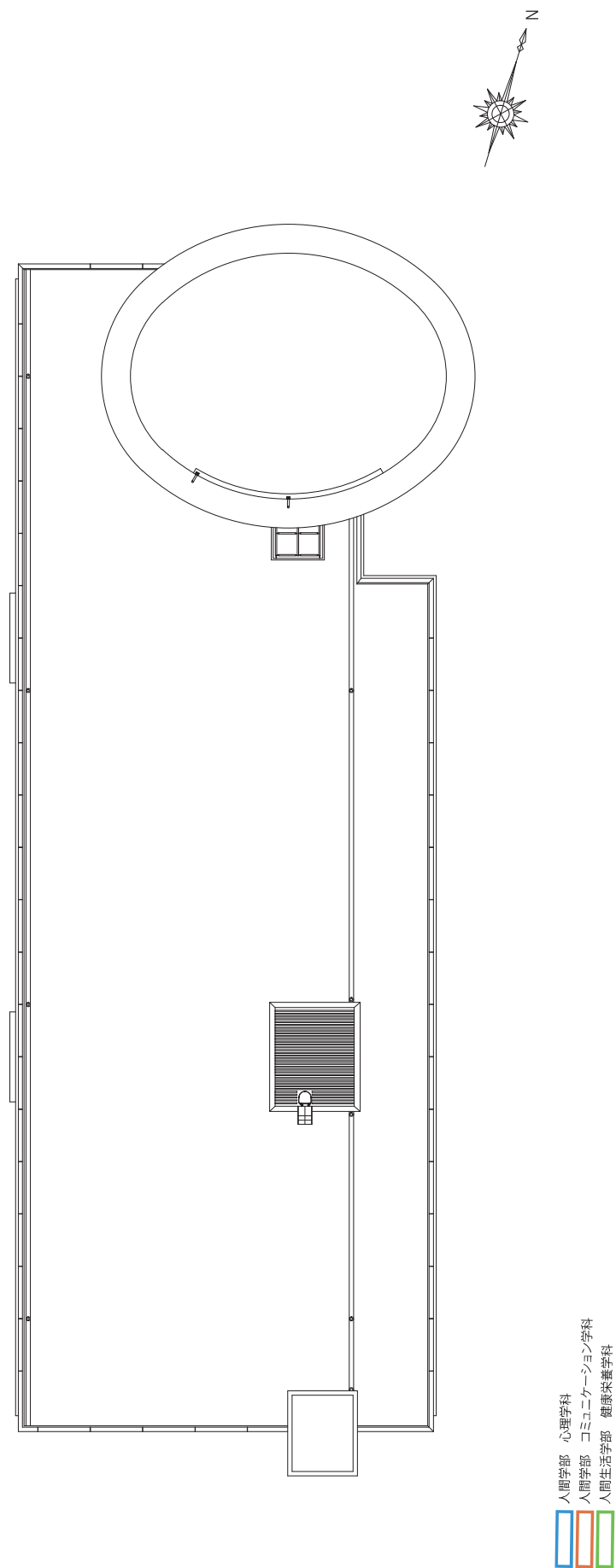
仁愛大学



仁愛大学

G号館3階平面図

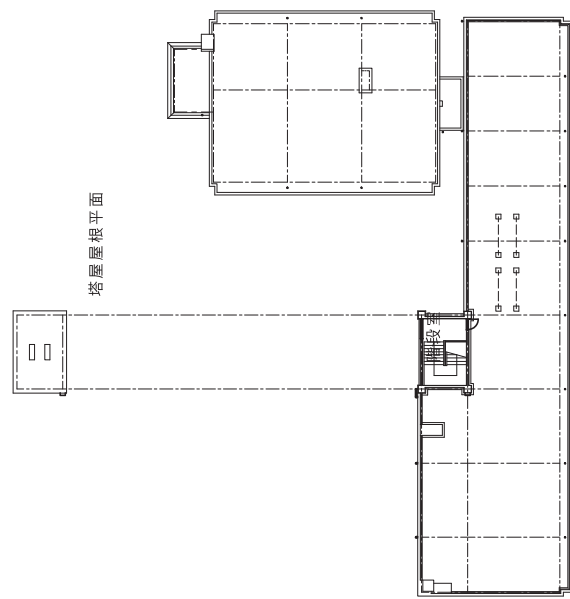
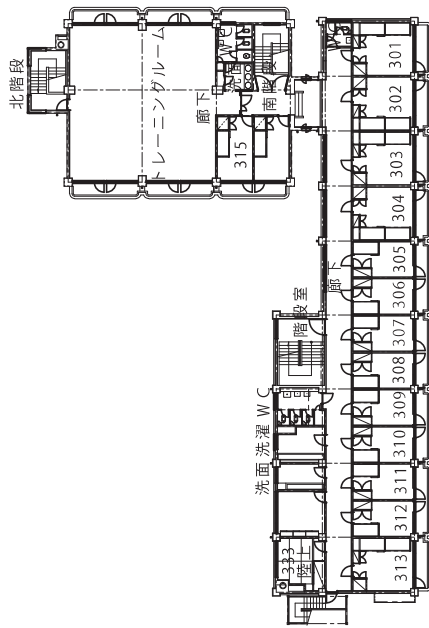




仁愛大学 G号館5・6階平面図

(4) - 3 校舎の平面図 (世灯館)

3 階[±]



P H 階平面図



配置図・1 階平面図



2 階平面図

人間学部 心理学科
人間学部 コミュニケーション学科
人間生活学部 健康栄養学科

仁愛大学 課外活動棟 (世灯館)

図面名称

各階平面図

仁愛大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に遵い、すべてのいのちのつながりの尊重と相互敬愛の仏教精神を基本とし、豊かな人間性の涵養と専門の学芸の教授研究を通して、社会の発展に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価に関する事項は、別に定める。

第2章 組織

(学部、学科及び学生定員)

第3条 本学において設置する学部、学科及びその学生定員は、次のとおりとする。

学部名	学 科 名	入学定員	収容定員
人間学部	心理学科	95 名	380 名
	コミュニケーション学科	75 名	300 名
人間生活学部	健康栄養学科	75 名	300 名
	子ども教育学科	70 名	280 名

2 本学に大学院を置く。

3 大学院に関し必要な事項は、別に定める。

(学部等の教育研究上の目的)

第3条の2 学部等の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

学 部 等	教育研究上の目的
人間学部	人間学部は、人間及び人間関係に関し、多角的に教授研究を行い、幅広い教養と専門知識を有する有為な人材を育成することを目的とする。
心理学科	心理学科は、人間の心理や行動特性に関する教授研究を通して、心理学の専門知識と相談・援助の技術を有する人材を養成することを目的とする。
コミュニケーション学科	コミュニケーション学科は、人間の相互理解と意思伝達に関する教授研究を通して、コミュニケーション学の専門知識とコミュニケーションの技術を有する人材を養成することを目的とする。

人間生活学部	人間生活学部は、現代の人間生活の諸課題に関し、多角的に教授研究を行い、幅広い教養と専門知識を有する有為な人材を育成することを目的とする。
健康栄養学科	健康栄養学科は、人間の食生活に関する教授研究を通して、栄養学の専門知識と健康管理の技術を有する人材を養成することを目的とする。
子ども教育学科	子ども教育学科は、子どもの教育と保育に関する教授研究を通して、教育学の専門知識と子育て支援の技術を有する人材を養成することを目的とする。

(組織)

第4条 本学における教育研究の向上と業務の円滑な遂行を図るため必要な組織を置く。

2 組織に関し必要な事項は、別に定める。

第3章 教職員組織

(教職員組織)

第5条 本学に置かれる職員は、次のとおりとする。

学長、学部長、研究科長、教育職員(教授、准教授、講師、助教、助手)、事務職員、技術職員、その他の職員。

2 前項に規程するもののほか、学長を助け、命を受けて、校務をつかさどる副学長を置くことができる。

第4章 評議会及び教授会

(評議会)

第6条 本学に評議会を置く。

(評議会の構成)

第7条 評議会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 学長
- 二 副学長
- 三 学部長
- 四 研究科長
- 五 情報資源センター長
- 六 附属心理臨床センター長
- 七 学生支援センター長
- 八 キャリア支援センター長
- 九 入学・広報センター長
- 十 事務長
- 十一 その他、学長が必要と認めた教職員

(評議会の審議事項)

第8条 評議会は、次の事項について学長の諮問に応じ審議する。

- 一 教育及び学術研究に関する重要事項
 - 二 学則、その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
 - 三 予算の方針に関する事項
 - 四 重要な機構及び施設の設置、廃止に関する事項
 - 五 教員の人事の基準に関する事項
 - 六 その他、学長が必要と認めた事項
- (評議会の運営)

第9条 評議会は、学長が召集し、その議長となる。

- 2 評議会の運営に関しその他必要な事項は、別に定める。
- (教授会)

第10条 本学の学部には教授会、研究科に研究科教授会を置く。

- 2 研究科教授会に関し必要な事項は、別に定める。
- (教授会の構成)

第11条 教授会は、学部長及び専任教授をもって組織する。

- 2 前項の規程にかかわらず、教授会が必要と認めたときは、准教授その他の教育職員を加えることができる。
- (教授会の任務)

第12条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、卒業
 - 二 学位の授与
 - 三 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規程するもののほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - 3 第1項第三号の学長が定める事項については、別に定める学長裁定によるものとし、教授会に周知するものとする。

(教授会の運営)

第13条 教授会は、学部長が召集し、その議長となる。

- 2 教授会の運営に関しその他必要な事項は、別に定める。

第5章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第14条 本学の修業年限は、4年とする。

- 2 学生は、8年を超えて在学することはできない。ただし、第23条及び第24条の規程により入学を許可された者及び第27条の規程により転学部又は転学科を許可された者については、第32条の規程により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第6章 学年，学期及び休業日

(学年)

第15条 学年は，4月1日に始まり，翌年3月31日に終わる。

(学期)

第16条 1年間の授業を行う期間は，定期試験等の期間を含め，35週にわたることを原則とし，学年を次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規程にかかわらず，学長が必要と認めたときは，前期の終了日及び後期の開始日を変更することができる。

(休業日)

第17条 休業日は，次のとおりとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律に規程する休日

春期休業 3月10日から3月31日まで

夏期休業 8月1日から9月20日まで

冬期休業 12月24日から1月10日まで

2 前項の規程にかかわらず，学長が必要と認めたときは，前項の休業日を変更し，又は休業日に授業を行い，若しくは臨時に休業日を定めることができる。

第7章 入学，退学及び休学等

(入学の時期)

第18条 入学の時期は，学年の始めとする。ただし，再入学及び転入学については，学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第19条 本学に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する者とする。

一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

三 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

八 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達した者

(入学の出願)

第20条 本学に入学を志願する者は、検定料を添えて、本学所定の書類を提出しなければならない。

2 前項の提出すべき書類及び提出の時期・方法等については、別に定める。

(入学者の選考)

第21条 学長は、前条の入学志願者について、別に定めるところにより選考を行い、教授会の議を経て合格者を決定する。

(入学手続き及び入学許可)

第22条 合格者は、所定の期日までに、誓約書及び身元保証書を提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

2 所定の期日までに、前項の入学手続きを完了しない者は、合格を取消することができる。

3 学長は、第1項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第23条 学長は、次の各号の一に該当する者で、本学に編入学を志願する者には、第3条第1項の編入学定員の規程により、選考の上、教授会の議を経て3年次に入学を許可する。

一 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し62単位以上修得して退学した者

二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

三 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規程による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

四 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者(ただし、学校教育法第90条に規程する大学入学資格を有する者に限る)

2 前項に規程するもののほか、編入学に関し必要な事項は別に定める。

(再入学及び転入学)

第24条 学長は、本学に再入学又は転入学を志願する者があるときは、教育上支障のない場合に限り、選考の上、教授会の議を経て相当年次に入学を許可することができる。

2 再入学及び転入学に関し必要な事項は、別に定める。

(退学)

第25条 学長は、やむを得ない事情により退学しようとする者があるときは、本人の願出により、教授会の議を経て退学を許可することができる。

(転学)

第26条 学長は、他の学校に転学しようとする者があるときは、本人の願出により、教授会の議を経て転学を許可することができる。

(転学部及び転学科)

第27条 学長は、他の学部への転学部又は同一学部の他の学科への転学科を志願する者があるときは、教育上支障のない場合に限り、選考の上、教授会の議を経て転学部又は転学科を許可することができる。

(留学)

第28条 学長は、外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者があるときは、本人の願出により、教授会の議を経て留学を許可することができる。

2 前項の許可を受けて留学した期間は、第14条第2項に定める在学年限及び第42条に定める在学期間に算入する。

(休学)

第29条 学長は、疾病その他やむを得ない事情により3ヶ月以上修学することのできない者があるときは、本人の願出により、教授会の議を経て休学を許可することができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は教授会の議を経て休学を命ずることができる。

3 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

4 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

5 休学期間は、第14条第2項に定める在学年限及び第42条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第30条 学長は、休学期間中にその理由が消滅したときは、本人の願出により、教授会の議を経て復学を許可することができる。

(除籍)

第31条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

- 一 第14条第2項に定める在学年限を超えた者
- 二 第29条第3項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- 三 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 四 長期間にわたり行方不明の者

(編入学等の場合の取扱)

第32条 第23条又は第24条の規程により入学を許可された者及び第27条の規程により転学部又は転学科を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第8章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第33条 本学において開設する授業科目の種類及び単位数等は、別表1のとおりとする。

(免許・資格等に関する授業科目)

第34条 前条に定めるもののほか、免許・資格等に関する授業科目を置くことができる。

2 前項の授業科目の種類及び単位数等は、別表2のとおりとする。

(単位の計算方法及び授業の方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果及び授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。

二 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規程にかかわらず、教育上特に必要と学長が認める場合には、単位の計算を変更することができる。

3 第 1 項の規程にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を与えることが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

4 文部科学大臣が別に定めるところにより、第 1 項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

5 第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規程により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

6 第 4 項の授業方法により修得する単位数は、60 単位を超えないものとする。

(履修する授業科目の届出)

第36条 学生は、その年度又は学期に履修する授業科目を所定の期限までに、学長に届け出なければならない。

2 前項の履修する授業科目の届出には、年度又は学期ごとに単位数の上限を定めることができる。

(単位の授与)

第37条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、授業科目の種類によっては、その学修の成果を評価して単位を与えることができる。

(成績の評価)

第38条 成績の評価は、S、A、B、C、E、Fをもって表わし、S、A、B、Cを合格とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第39条 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が当該大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を 60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規程は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 認定手続等については、別に定める。

(大学又は短期大学以外の教育施設等における学修)

第40条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により修得したものとみなす単位数を合わせて 60 単位を超えないものとする。

3 認定手続等については、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第41条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学に

において履修した授業科目について修得した単位を，入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は，教育上有益と認めるときは，学生が入学する前に行った前条第1項に規程する学修を，本学における授業科目の履修とみなし，単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，編入学及び転入学の場合を除き，本学において修得した単位以外のものについては，第39条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 認定手続等については，別に定める。

(原級留置)

第41条の2 学長は，各年次終了時における修得した授業科目数，又は単位数が不十分で，上級年次の履修に支障があると認められる者については，教授会の議を経て上級年次への進級を認めず原級に留め置くことができる。

第9章 卒業等

(卒業)

第42条 本学に4年(第23条又は第24条の規程により入学を許可された者及び第27条の規程により転学科を許可された者)にあつては第32条の規程により定められた在学すべき年数)以上在学し，別表1に定める卒業要件の単位数を修得した者については，教授会の議を経て，学長が卒業を認定する。

(卒業の時期)

第43条 卒業の時期は，学年又は学期の終わりとする。

(学位)

第44条 学長は，第42条の規程により卒業が認定された者に，教授会の議を経て次の区分による学士の学位を授与する。

学 部	学 科	学位の種類(専攻分野の名称)
人間学部	心理学科	学士(心理学)
	コミュニケーション学科	学士(コミュニケーション学)
人間生活学部	健康栄養学科	学士(栄養学)
	子ども教育学科	学士(教育学)

2 学位に関し必要な事項は，別に定める。

(教育職員免許状)

第44条の2 教育職員の免許状を受ける資格を取得しようとする者は，教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類及び免許教科
人間学部	コミュニケーション学科	高等学校教諭一種免許状(英語) 中学校教諭一種免許状(英語)

人間生活学部	健康栄養学科	栄養教諭一種免許状
	子ども教育学科	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状

3 栄養教諭一種免許状を受ける資格を取得しようとする者は、第1項に定めるもののほか、栄養士法、栄養士法施行令、栄養士法施行規則及び管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

(栄養士免許証及び管理栄養士国家試験受験資格)

第44条の3 栄養士免許証を取得しようとする者は、栄養士法、栄養士法施行令及び栄養士法施行規則に定める所定の単位を修得し、卒業しなければならない。

2 管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、前項に定めるもののほか、管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得し、卒業しなければならない。

(保育士資格)

第44条の4 保育士資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行令及び児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得し、卒業しなければならない。

第10章 検定料、入学料、授業料等及びその他の費用

(検定料等の金額)

第45条 本学の検定料、入学料、授業料等の金額は、別表3のとおりとする。

(授業料等の納入期)

第46条 授業料等は、前期・後期の2期に分けて、4月及び10月の所定の期日までに納入しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者については、延納を認めることができる。

(退学及び停学の場合の授業料等)

第47条 学期の途中で退学し、又は除籍された者の当該期分の授業料等は、徴収する。

2 停学期間中の授業料等は、徴収する。

(留学の場合の授業料等)

第48条 学期の全期間にわたり、留学を許可された者については、その学期の授業料等を免除する。ただし、別表4に定められた在籍料を納入しなければならない。指定された期間に在籍料を納入しない者は、留学許可を取り消す。

2 学期の中途において、留学し又は留学を終えた者は、その学期の授業料等を全額納付しなければならない。

(休学及び復学の場合の授業料等)

第49条 学期の全期間にわたり、休学を許可され又は命じられた者については、その学期の授業料等を免除する。ただし、別表4に定められた在籍料を納入しなければならない。指定された期間に在籍料を納入しない者は、休学許可を取り消す。

2 学期の中途において、休学又は復学した者は、その学期の授業料等を全額納付しなければならない。

(その他の費用)

第50条 実験・実習費その他必要な費用(以下「その他の費用」という。)は、別にこれを

徴収する。

2 学期の全期間にわたり、休学を許可され又は命じられた者及び留学を許可された者については、その学期の前項の費用を免除する。但し、別に定める在籍料を4月及び10月の所定の期日までに納付しなければならない。

3 学期の中途において、退学し、又は除籍された者、留学し又は留学を終えた者及び休学又は復学した者は、その学期の第1項の費用を全額納付しなければならない。
(納付した授業料等)

第51条 納付した検定料、入学料、授業料等及びその他の費用は、原則として返付しない。

第11章 科目等履修生及び聴講生、特別聴講学生、研究生及び外国人留学生
(科目等履修生及び聴講生)

第52条 学長は、本学において授業科目の履修を希望する者がいるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて選考の上、教授会の議を経て科目等履修生及び聴講生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生には、単位を与えることができる。

3 前項に規定するもののほか、科目等履修生及び聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第53条 学長は、他の大学又は短期大学に在学している者で、本学において授業科目を履修しようとする者がいるときは、教授会の議を経て、当該大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することができる。

2 特別聴講学生には、単位を与えることができる。

3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第54条 学長は、本学において特別の事項について研究しようとする者がいるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて選考の上、教授会の議を経て研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第55条 学長は、外国人で、大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、教授会の議を経て外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 賞罰

(表彰)

第56条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰する。

(懲戒)

第57条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 懲戒処分の手続きに関し必要な事項は、別に定める。

第13章 厚生保健

(健康管理)

第58条 学生は、定期に行う健康診断を受けるほか、随時健康診断を受けて、疾病の予防と健康の増進につとめなければならない。

2 厚生並びに保健に関する施設及びその利用方法については、別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第59条 学長は、学生の修学を妨げない場合に限り、適当な時期に公開講座を設けることができる。

第 15 章 雑則

(学則の改正)

第 60 条 この学則の改正は、評議会の議を経て、理事会において行う。

附 則

1 この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 13 年度から平成 15 年度における収容定員は、第 3 条の規程にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
人間学部	心理学科	95 名	190 名	295 名
	コミュニケーション学科	95 名	190 名	295 名

附 則

この学則は、平成 15 年 10 月 30 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 16 年度以前の入学者については従前のとおりとする。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 17 年度以前の入学者に係る別表第 1 の適用については、従前のとおりとする。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 19 年度以前の入学者に係る別表第 1 の適用については、従前のとおりとする。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 20 年度以前の入学者に係る別表第 1 及び別表第 2 の適用については、従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 20 年度以前の入学者に係る別表第 1 及び別表第 2 の適用については、従前のおりとする。
- 2 平成 21 年度から平成 23 年度までにおける人間生活学部の収容定員は、第 3 条第 1 項の規程にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
人間生活学部	健康栄養学科	75 名	150 名	230 名
	子ども教育学科	45 名	90 名	140 名

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 21 年度以前の入学者に係る別表第 1 及び別表第 2 の適用については、なお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年度以前の入学者に係る別表 1 の適用については、なお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年度以前の入学者に係る別表 1 の適用については、なお従前のおりとする。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条第 1 項の編入学定員の規程は、平成 26 年度から適用する。
- 3 平成 26 年度における人間学部コミュニケーション学科の収容定員は、第 3 条第 1 項の規程にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	平成 26 年度
人間学部	コミュニケーション学科	395 名

- 4 平成 26 年度から平成 28 年度までにおける人間生活学部子ども教育学科の収容定員は、第 3 条第 1 項の規程にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
人間生活学部	子ども教育学科	190 名	190 名	195 名

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度以前の入学者に係る別表 1 及び別表 3 の適用については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 27 年度以前の入学者に係る別表第 1 及び別表第 2 の適用については、従前のおりとする。
- 2 平成 28 年度から平成 30 年度までにおける人間学部コミュニケーション学科の収容

定員は、第3条第1項の規程にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人間学部	コミュニケーション学科	370名	350名	330名

- 3 平成28年度から平成30年度までにおける人間生活学部子ども教育学科の収容定員は、第3条第1項の規程にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人間生活学部	子ども教育学科	215名	240名	260名

附 則

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成27年度以前の入学者に係る別表第1及び別表第2の適用については、なお従前のとおりとする。
- 前項の規程に関わらず、別表1の1人間学部の卒業要件の単位数(注2)(3)の定めについては平成27年度の入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成28年9月1日から施行する。第35条第4項及び第5項の規程については、平成27年度入学生から適用する。

附 則

- この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成29年度以前の入学者に係る別表1及び別表2の適用については従前のとおりとする。

附 則

- この学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成30年度以前の入学者に係る別表1及び別表2の適用については従前のとおりとする。

附 則

- この学則は、令和2年4月1日から施行する。
但し、平成31年度以前の入学者については、従前のとおりとする。
- 第3条第1項の編入学定員の規定は、令和2年度から適用する。
- 令和2年度における人間学部心理学科の収容定員は、第3条第1項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	令和2年度
人間学部	心理学科	392名

- 4 令和2年度における人間学部コミュニケーション学科の収容定員は、第3条第1項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	令和2年度
人間学部	コミュニケーション学科	307名

- 5 令和2年度における人間生活学部健康栄養学科の収容定員は、第3条第1項の規定に

かかわらず，次のとおりとする。

学部	学科	令和 2 年度
人間生活学部	健康栄養学科	307 名

附 則

- 1 この学則は，令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし，平成 31 年度以前の入学生に係る別表 1 の適用については従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は，令和 2 年 6 月 1 日から施行し，令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

- 1 この学則は，令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし，令和 3 年度以前の入学者に係る別表 1 の適用については従前のとおりとする。なお別表 3 については，令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

- 1 この学則は，令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし，令和 3 年度以前の入学者に係る別表 1 及び 2 の適用については従前のとおりとする。

附 則

- 1 この学則は，令和 5 年 4 月 11 日から施行し，令和 5 年 4 月 1 日から適用する。但し，令和 4 年度以前の入学者に対しては，令和 6 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

- 1 この学則は，令和 5 年 5 月 29 日に改正し，令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は，令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は，令和 7 年 4 月 1 日から施行する。但し，令和 6 年度以前の入学者については，従前のとおりとする。
- 2 第 3 条第 1 項の編入学定員の規定は，令和 7 年度から適用する。
- 3 令和 7 年度における人間学部心理学科の収容定員は，第 3 条第 1 項の規定にかかわらず，次のとおりとする。

学部	学科	令和 7 年度
人間学部	心理学科	382 名

- 4 令和 7 年度における人間学部コミュニケーション学科の収容定員は，第 3 条第 1 項の規定にかかわらず，次のとおりとする。

学部	学科	令和 7 年度
人間学部	コミュニケーション学科	302 名

- 5 令和 7 年度における人間生活学部健康栄養学科の収容定員は，第 3 条第 1 項の規定に

かかわらず，次のとおりとする。

学部	学科	令和 7 年度
人間生活学部	健康栄養学科	302 名

別表1(第33条及び第42条関係)

1 人間学部

(1)心理学科科目

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
学 部 共 通 科 目	全 学 科 目 共 通	仏教の人間観 人間と宗教 仏教の思想	2	2 2	必修を含め2単位以上
	人 間 学 関 連 科 目	哲学の世界観 生命の倫理 人権と法 日本国憲法 人間の教育 文学の世界 芸術の世界 歴史と地域文化		2 2 2 2 2 2 2 2	6単位以上
	環 境 ・ 健 康 科 目	人間と環境A 文化とまちづくり 人間と環境C ふくい総合学 スポーツと健康 スポーツA スポーツB スポーツC		2 2 2 2 1 1 1	4単位以上
	外 国 語 科 目	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英語Ⅲa 英語Ⅲb フランス語a フランス語b ドイツ語a ドイツ語b 中国語a 中国語b ポルトガル語a ポルトガル語b 海外語学研修	1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4	必修を含め4単位以上
	情 報 科 目	情報基礎 データサイエンス基礎 情報活用a 情報活用b 情報処理演習a 情報処理演習b	2	2 2 2 2 2	4単位以上
	修 学 基 礎 ・ キ ャ リ ア 形 成 科 目	基礎演習 日本語文章表現 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ フィールドワーク演習(インターンシップ) フィールドワーク演習(ボランティア) フィールドワーク演習(国際交流)	2 1	2 2 2 2 2	必修を含め3単位以上

区 分			授 業 科 目 名	単位数		備 考
				必修	選択	
専 門 科 目	基 幹 科 目	心理学基礎	心理学概論Ⅰ	2		
			心理学概論Ⅱ	2		
			心理学研究法Ⅰ	2		
			心理学研究法Ⅱ	2		
			心理学統計法Ⅰ		2	
			心理学統計法Ⅱ		2	
			心理学実験		2	
			心理測定実習		2	
			心理的アセスメント		2	
			心理検査演習		2	
			心理面接演習		2	
			心理調査法		2	
	心理学専門	A 類	臨床心理学概論Ⅰ		2	
			臨床心理学概論Ⅱ		2	
			感情・人格心理学		2	
			健康・医療心理学		2	
			司法・犯罪心理学		2	
			精神分析学		2	6単位以上
		B 類	発達心理学Ⅰ		2	
			発達心理学Ⅱ		2	
			学習・言語心理学		2	
			知覚・認知心理学		2	
			神経・生理心理学		2	
			教育・学校心理学		2	6 単位以上
		C 類	社会・集団・家族心理学Ⅰ		2	
			社会・集団・家族心理学Ⅱ		2	
			産業・組織心理学Ⅰ		2	
			産業・組織心理学Ⅱ		2	
			交通心理学		2	
			スポーツ心理学		2	6 単位以上
		D 類	心理学特別講義	2		
			心理学キャリア演習Ⅰ		4	
			心理学キャリア演習Ⅱ		4	A・B・C類からそれぞれ6 単位以上，かつ，心理学専門において，必修を含め30単位以上

区 分			授 業 科 目 名	単位数		備 考						
				必修	選択							
専 門 科 目	応 用 科 目	臨 床 系	臨床心理学演習		2	臨床系又は行動・支援系若しくは産業・社会系のいずれかの系から8単位以上、かつ、前述の3系から16単位以上						
			心理学的支援法		2							
			精神疾患とその治療Ⅰ		2							
			精神疾患とその治療Ⅱ		2							
			学校臨床心理学		2							
			深層心理学		2							
		行 動 ・ 支 援 系	生理心理学実習		2							
			行動解析実習		2							
			人体の構造と機能及び疾病		2							
			比較心理学		2							
			障害者・障害児心理学		2							
			福祉心理学		2							
		産 業 ・ 社 会 系	社会心理学演習		2							
			多変量解析演習		2							
			消費者心理学		2							
			産業カウンセリング		2							
			社会福祉概論		2							
			関係行政論		2							
	卒 業 演 習 ・ 特 別 演 習	心理学特別演習Ⅰ	4		14単位							
		心理学特別演習Ⅱ	4									
		卒業研究	6									
単 位 数 合 計				33	165							
卒業要件の単位数 <table><tr><td>学部共通科目</td><td>32単位以上</td></tr><tr><td>学科専門科目</td><td>92単位以上</td></tr><tr><td>合 計</td><td>124単位以上</td></tr></table> (注1) 備考欄に示す各科目区分ごとの所定の単位数をそれぞれ修得しなければならない。 (注2) 学科専門科目92単位のうち16単位については自由選択科目として、以下の科目の履修による単位のいずれかで置き換えることができる。 (1) 学部共通科目（32単位を超えて修得した単位） (2) 人間学部コミュニケーション学科専門科目のうち以下の科目 コミュニケーション概論、異文化理解a、人間関係論、地域研究概論、共生社会論、情報社会論、言語コミュニケーション論、オーラル・コミュニケーションⅠa、簿記演習a、簿記演習b、異文化理解b、社会学入門、情報システム論、オーラル・コミュニケーションⅠb、会計学a、会計学b (3) 人間生活学部健康栄養学科専門科目のうち以下の科目 基礎化学、基礎生物学、分析化学、有機化学、生命科学、食品加工実習、食品品質評価演習、食文化論、学校栄養教育の理論と方法、心と健康 (4) 人間生活学部子ども教育学科専門科目のうち以下の科目 社会福祉、子ども家庭福祉、保育原理Ⅰ、算数、子ども家庭支援の心理学、子どもの食と栄養、子どもと食育、子どもの映像文化 (5) 福井県内大学等単位互換制度協定校が開講する科目のうち、人間学部教授会が認める科目							学部共通科目	32単位以上	学科専門科目	92単位以上	合 計	124単位以上
学部共通科目	32単位以上											
学科専門科目	92単位以上											
合 計	124単位以上											

(2)コミュニケーション学科科目

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
学 部 共 通 科 目	全 科 学 目 共 通	仏教の人間観 人間と宗教 仏教の思想	2	2 2	必修を含め2単位以上
	人 間 学 関 連 科 目	哲学の世界観 生命の倫理 人権と法 日本国憲法 人間の教育 文学の世界 芸術の世界 歴史と地域文化		2 2 2 2 2 2 2 2	6単位以上
	環 境 ・ 健 康 科 目	人間と環境A 文化とまちづくり 人間と環境C ふくい総合学 スポーツと健康 スポーツA スポーツB スポーツC		2 2 2 2 1 1 1	4単位以上
	外 国 語 科 目	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英語Ⅲa 英語Ⅲb フランス語a フランス語b ドイツ語a ドイツ語b 中国語a 中国語b ポルトガル語a ポルトガル語b 海外語学研修	1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4	必修を含め4単位以上
	情 報 科 目	情報基礎 データサイエンス基礎 情報活用a 情報活用b 情報処理演習a 情報処理演習b	2	2 2 2 2 2	4単位以上
	修 学 基 礎 ・ キ ャ リ 形	基礎演習 日本語文章表現 キャリア・デザインⅠ キャリア・デザインⅡ フィールドワーク演習(インターンシップ) フィールドワーク演習(ボランティア) フィールドワーク演習(国際交流)	2 1	2 2 2 2 2	必修を含め3単位以上

区 分				単位数		備 考
				必修	選択	
専 門 科 目	基 幹 科 目	コミュニケーション学基礎	A 群（理論的知識）	コミュニケーション概論 異文化理解 a 人間関係論 地域研究概論 日本語概論 共生社会論 情報社会論 言語コミュニケーション論	2 2 2 2 2 2 2 2	必修を含め12単位以上
			B 群（スキル）	デジタル・デザイン 情報社会基礎演習 コミュニケーションとホスピタリティ オーラル・コミュニケーション I a 英文法 プレゼンテーション技法 簿記演習 a	2 2 2 2 2 2	必修を含め8単位以上
	応 用 科 目	コミュニケーション学専門		コミュニケーション学特別講義 プロジェクト・デザイン入門 観光経済論 公共政策 簿記演習 b 企業と制度 異文化理解 b 社会学入門 社会調査法 情報システム論 観光社会論 多文化共生論 オーラル・コミュニケーション I b 検定英語入門	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	20単位以上
				プロジェクト・デザイン I プロジェクト・デザイン II プロジェクト・デザイン III 会計学 a 会計学 b ビジネス能力論 ビジネス・コミュニケーション研究 組織と情報 消費者と行動 メディア・コミュニケーション論 ライティング技法 メディア・デザイン I a メディア・デザイン I b メディア・デザイン II プロگرامming	 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	社会文化コース共通開設科目 社会文化コース共通開設科目 社会文化コース共通開設科目 社会文化コース共通開設科目

区 分			授 業 科 目 名	単位数		備 考
				必修	選択	
専 門 科 目	社会・文化コース	統計学a		2		
		統計学b		2		
		フィールドワーク技法		2		
データ解析法			2			
社会調査演習a			2			
社会調査演習b			2			
社会と文化			2			
社会と思想			2			
観光社会研究			2			
現代文化研究			2			
組織と情報			2	社会文化コース共通開設科目		
消費者と行動			2	社会文化コース共通開設科目		
メディア・コミュニケーション論			2	社会文化コース共通開設科目		
プログラミング			2	社会文化コース共通開設科目		
アプリケーション演習			2			
	国際英語コース	英語音声学		2		
		英語学研究		2		
		英語文学研究		2		
		オーラル・コミュニケーションⅡ a		2		
		オーラル・コミュニケーションⅡ b		2		
		英語コミュニケーション a		2		
		英語コミュニケーション b		2		
		英文講読a		2		
		英文講読b		2		
		英語文章表現法Ⅰ		2		
		英語文章表現法Ⅱ		2		
		TOEIC英語a		2		
		TOEIC英語b		2		
		観光ビジネス英語		2	ビジネスコースまたは社会・文化コースまたは国際英語コースのいずれかのコースから22単位以上	
		国際ビジネス英語		2		
	卒業研究・特別演習	コミュニケーション特別演習Ⅰ a	2			
		コミュニケーション特別演習Ⅰ b	2			
		コミュニケーション特別演習Ⅱ a	2			
		コミュニケーション特別演習Ⅱ b	2			
		卒業研究	6		14単位	
単 位 数 合 計			35	199		
卒業要件の単位数						
学部共通科目		32単位以上				
学科専門科目		92単位以上				
合 計		124単位以上				
(注1) 備考欄に示す各科目区分ごとの所定の単位数をそれぞれ修得しなければならない。						
(注2) 学科専門科目92単位のうち16単位については自由選択科目として、以下の科目の履修による単位のいずれかで置き換えることができる。						
(1) 学部共通科目 (32単位を超えて修得した単位)						
(2) 人間学部心理学科専門科目のうち以下の科目 心理学概論Ⅰ、心理学概論Ⅱ、臨床心理学概論Ⅰ、臨床心理学概論Ⅱ、感情・人格心理学、健康・医療心理学、発達心理学Ⅰ、発達心理学Ⅱ、学習・言語心理学、知覚・認知心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学Ⅰ、社会・集団・家族心理学Ⅱ、産業・組織心理学Ⅰ、産業・組織心理学Ⅱ、交通心理学、スポーツ心理学、深層心理学、比較心理学、障害者・障害児心理学、福祉心理学、消費者心理学						
(3) 人間生活学部健康栄養学科専門科目のうち以下の科目 基礎化学、基礎生物学、分析化学、有機化学、生命科学、食品加工実習、食品品質評価演習、食文化論、学校栄養教育の理論と方法、心と健康						
(4) 人間生活学部子ども教育学科専門科目のうち以下の科目 社会福祉、子ども家庭福祉、保育原理Ⅰ、算数、子ども家庭支援の心理学、子どもの食と栄養、子どもと食育、子どもの映像文化						
(5) 福井県内大学等単位互換制度協定校が開講する科目のうち、人間学部教授会が認める科目						

2 人間生活学部

(1)健康栄養学科科目

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
学部共通科目	全 科学 目共 通	仏教の人間観 人間と宗教 仏教の思想	2	2 2	必修を含め2単位以上
	人間学 関連 科目	哲学の世界観 生命の倫理 日本国憲法 文学の世界 音楽の世界 美術の世界		2 2 2 2 2 2	4単位以上
	環境・ 健康生 活科目	生活と環境A 生活と環境B 生活と環境C 生活と環境D ふくい総合学 スポーツと健康 スポーツA スポーツB		2 2 2 2 2 2 1 1	4単位以上
	外国語 科目	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英語Ⅲa 英語Ⅲb フランス語a フランス語b ドイツ語a ドイツ語b 中国語a 中国語b ポルトガル語a ポルトガル語b	1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	必修を含め4単位以上
	科情 目報	情報基礎 データサイエンス基礎	2	2	必修を含め2単位以上
	リ 礎・ 科 ア 修 目 キ 学 成 ャ 基	基礎演習 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	2	2 2	必修を含め2単位以上
専門科目	基礎 分野	基礎化学 基礎生物学 分析化学 有機化学 生命科学		2 2 2 2 2	
	専門 基礎 分野	公衆衛生学 公衆衛生学実習 健康管理概論 社会福祉論	2 1 2	2	
		解剖生理学 解剖生理学実験 基礎生化学 栄養生化学 基礎生化学実験 栄養生化学実験	2 1 2 2 1 1	1	

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
		病理学	2		
専 門 科 目	専 門 基 礎 分 野	臨床医学概論	2		
		運動生理学	2		
		微生物学	2		
		微生物学実験		1	
		食品学総論	2		
		食品学各論		2	
		食品機能学		2	
		食品加工学		2	
		食品加工実習		1	
		食品分析実験	1		
		食品衛生学	2		
		食品衛生学実験	1		
		調理学	2		
		調理学実習	1		
		応用調理学実習	1		
		調理科学実験		1	
	栄 養 の 基 本	基礎栄養学	2		
		基礎栄養学実験	1		
		応用栄養学Ⅰ(成長・発達・加齢、食事摂取基準)	2		
		応用栄養学Ⅱ(栄養・体力アセスメント)		1	
		応用栄養学Ⅲ(ライフステージ栄養学)	2		
	栄 養 教 育	応用栄養学Ⅳ(ライフスタイル・スポーツ栄養学)	2		
		応用栄養学実習		1	
		栄養教育論Ⅰ(栄養教育論)	2		
		栄養教育論Ⅱ(子ども・高齢期栄養教育論)	2		
		栄養教育論Ⅲ(行動療法・カウンセリング)		1	
	専 門 分 野	栄養教育論Ⅳ(健康栄養情報処理演習)		1	
		栄養教育論実習	1		
		臨床栄養病理学		1	
		臨床栄養学Ⅰ(栄養療法)	2		
		臨床栄養学Ⅱ(栄養アセスメント)	2		
		臨床栄養学Ⅲ(チーム医療)		2	
		臨床栄養学Ⅳ(臨床栄養管理)	2		
		臨床栄養学実習Ⅰ(食事療法)	1		
		臨床栄養学実習Ⅱ(栄養アセスメント)	1		
		臨床栄養学実習Ⅲ(臨床栄養管理)	1		
		公衆栄養学Ⅰ(地域栄養活動)	2		
		公衆栄養学Ⅱ(栄養疫学)		2	
		公衆栄養学実習	1		
	栄 養 の 実 践	給食経営管理論Ⅰ(給食計画)	2		
		給食経営管理論Ⅱ(マネジメント)	2		
		給食経営管理論Ⅲ(食料商品学)		2	
		給食経営管理論実習	1		
	臨 地 実 習	栄養総合演習Ⅰ		2	
		栄養総合演習Ⅱ		2	
		給食経営管理臨地実習		1	
		臨床栄養臨地実習		2	
		公衆栄養臨地実習		1	
		給食運営実習		1	

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 科 目	卒業 研究・ 特別演習	フィールドワーク演習		2	
		健康・栄養特別演習Ⅰ	2		
		健康・栄養特別演習Ⅱ	2		
		健康・栄養特別演習Ⅲ		2	
		卒業研究	4		
	関連 科目	生涯発達心理学		2	
		分子栄養学		2	
		国際食糧・栄養情報論		1	
		食品品質評価演習		2	
		食文化論		2	
		学校栄養教育の理論と方法		2	
		食育指導の理論と方法		2	
		心と健康		2	
		フードスペシャリスト論		2	
		フードコーディネーター論		2	

卒業要件の単位数

学部共通科目	26単位以上
学科専門科目	102単位以上
合 計	128単位以上

(注1) 備考欄に示す各科目区分ごとの所定の単位数をそれぞれ修得しなければならない。

(注2) 学科専門科目102単位のうち10単位については自由選択科目として、以下の科目の履修による単位で置き換えることができる。

(1) 人間学部心理学科専門科目のうち以下の科目

心理学概論Ⅰ、心理学概論Ⅱ、臨床心理学概論Ⅰ、臨床心理学概論Ⅱ、感情・人格心理学、健康・医療心理学、発達心理学Ⅰ、発達心理学Ⅱ、学習・言語心理学、知覚・認知心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学Ⅰ、社会・集団・家族心理学Ⅱ、産業・組織心理学Ⅰ、産業・組織心理学Ⅱ、交通心理学、スポーツ心理学、深層心理学、比較心理学、障害者・障害児心理学、福祉心理学、消費者心理学

(2) 人間学部コミュニケーション学科専門科目のうち以下の科目

コミュニケーション概論、異文化理解a、人間関係論、地域研究概論、共生社会論、情報社会論、言語コミュニケーション論、オーラル・コミュニケーションⅠa、簿記演習a、簿記演習b、異文化理解b、社会学入門、情報システム論、オーラル・コミュニケーションⅠb、会計学a、会計学b

(3) 人間生活学部子ども教育学科専門科目のうち以下の科目

社会福祉、子ども家庭福祉、保育原理Ⅰ、算数、子ども家庭支援の心理学、子どもの食と栄養、子どもと食育、子どもの映像文化

(2) 子ども教育学科科目

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
学部共通科目	全 科 目 共 通	仏教の人間観 人間と宗教 仏教の思想	2	2 2	必修を含め2単位以上
	人 間 学 関 連 科 目	哲学の世界観 生命の倫理 日本国憲法 文学の世界 音楽の世界 美術の世界		2 2 2 2 2 2	4単位以上
	環 境 ・ 健 康 生 活 科 目	生活と環境A 生活と環境B 生活と環境C 生活と環境D ふくい総合学 スポーツと健康 スポーツA スポーツB		2 2 2 2 2 2 1 1	4単位以上
	外 国 語 科 目	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英語Ⅲa 英語Ⅲb フランス語a フランス語b ドイツ語a ドイツ語b 中国語a 中国語b ポルトガル語a ポルトガル語b	1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	必修を含め4単位以上
	科 情 目 報	情報基礎 データサイエンス基礎	2	2	必修を含め2単位以上
	リ 礎 修 学 基 本 形 成 課 目	基礎演習 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	2	2 2	必修を含め2単位以上
専 門 科 目	基 幹 科 目	教職論 教育原理 ※ 教育心理学 ※ 特別支援教育論 ※ 教育経営論 ※ 道徳教育の理論と方法 ※ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ※ 教育の方法と技術(ICT活用を含む)※ 教育課程論Ⅰ 教育課程論Ⅱ 生徒・進路指導論 ※ 教育相談 ※ 社会福祉 子ども家庭福祉 保育者論 保育原理Ⅰ 社会的養護Ⅰ 発達心理学Ⅰ 保育基礎演習 保育基礎演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	 2 2 2 2 2 2 2 2	

区 分			授 業 科 目 名	単位数		備 考
				必修	選択	
専門科目	展開科目	各教科・領域	国語 社会 算数 理科 理科総合 生活 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 家庭 体育Ⅰ 体育Ⅱ 英語 子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	
		各教科指導法	国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 音楽科教育法 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 英語科教育法		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
		保育	基礎ピアノⅠ 基礎ピアノⅡ 音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ 音楽演習 児童福祉援助技術 保育原理Ⅱ 子ども家庭支援の心理学 発達心理学Ⅱ 子どもの保健 子どもの健康と安全 子どもの食と栄養 精神保健 子ども家庭支援論 保育内容総論 保育内容指導法(健康) 保育内容指導法(人間関係) 保育内容指導法(環境) 保育内容指導法(言葉) 保育内容指導法(表現A) 保育内容指導法(表現B) 保育内容指導法(表現C) 保育内容指導法(子どもの文化) 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 障がい児保育 社会的養護Ⅱ 子育て支援		1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	

区 分		授 業 科 目 名	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 科 目	実 践 演 習 ・ 総 合 演 習 ・ 実 習 科 目	保育実践演習		2	
		教職実践演習(幼・小)		2	
		保育実習指導Ⅰ		2	
		保育実習Ⅰa		2	
		保育実習Ⅰb		2	
		保育実習指導Ⅱ		1	
		保育実習Ⅱ		2	
		保育実習指導Ⅲ		1	
		保育実習Ⅲ		2	
		事前・事後指導(幼稚園)		1	
		教育実習Ⅰ(幼稚園)		1	
		教育実習Ⅱ(幼稚園)		3	
		事前・事後指導(小学校)		1	
		教育実習(小学校)		4	
		フィールドワーク演習		2	
	特 別 演 習 ・ 卒 業 研 究	子ども教育特別演習Ⅰ	2		
		子ども教育特別演習Ⅱ	2		
		子ども教育特別演習Ⅲ	2		
		卒業研究	4		
		保育とソーシャルワーク		2	
		地域福祉学演習		2	
		子どもと食育		2	
		子どもの映像文化		2	
		子どもの発達臨床		2	
		子どもと英語教育		2	
		絵本・児童文学論		2	

卒業要件の単位数

学部共通科目	26単位以上
学科専門科目	102単位以上
合 計	128単位以上

(注1) 備考欄に示す各科目区分ごとの所定の単位数をそれぞれ修得しなければならない。

(注2) 学科専門科目102単位のうち10単位については自由選択科目として、以下の科目の履修による単位で置き換えることができる。

(1) 人間学部心理学科専門科目のうち以下の科目

心理学概論Ⅰ、心理学概論Ⅱ、臨床心理学概論Ⅰ、臨床心理学概論Ⅱ、感情・人格心理学、健康・医療心理学、発達心理学Ⅰ、発達心理学Ⅱ、学習・言語心理学、知覚・認知心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学Ⅰ、社会・集団・家族心理学Ⅱ、産業・組織心理学Ⅰ、産業・組織心理学Ⅱ、交通心理学、スポーツ心理学、深層心理学、比較心理学、障害者・障害児心理学、福祉心理学、消費者心理学

(2) 人間学部コミュニケーション学科専門科目のうち以下の科目

コミュニケーション概論、異文化理解a、人間関係論、地域研究概論、共生社会論、情報社会論、言語コミュニケーション論、オーラル・コミュニケーションⅠa、簿記演習a、簿記演習b、異文化理解b、社会学入門、情報システム論、オーラル・コミュニケーションⅠb、会計学a、会計学b

(3) 人間生活学部健康栄養学科専門科目のうち以下の科目

基礎化学、基礎生物学、分析化学、有機化学、生命科学、食品加工実習、食品品質評価演習、食文化論、学校栄養教育の理論と方法、心と健康

(4) 別表1及び別表2において※の付した科目は共通開設科目である。

別表 2 (第34条関係)

(1) 教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科の指導法

授 業 科 目 名	単位数		備 考
	必修	選択	
英語科教育法Ⅰ		2	
英語科教育法Ⅱ		2	
英語科教育法Ⅲ		2	
英語科教育法Ⅳ		2	
教職論		2	
教育原理 ※		2	
教育心理学 ※		2	
教育経営論 ※		2	
特別支援教育論 ※		2	
教育課程論		2	
道德教育の理論と方法 ※		2	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ※		2	
教育の方法と技術 (ICT活用を含む) ※		2	
生徒・進路指導論 ※		2	
生徒指導論		2	
教育相談 ※		2	
事前・事後指導 (中・高)		1	
事前・事後指導 (栄養教諭)		1	
教育実習Ⅰ (高校)		2	
教育実習Ⅱ (中学校)		2	
教育実習 (栄養教諭)		1	
教職実践演習 (中・高)		2	
教職実践演習 (栄養教諭)		2	
単 位 数 合 計		43	

(1) 別表1及び別表2において※の付した科目は共通開設科目である。

(2) 児童厚生一級指導員資格に関する科目

授 業 科 目 名	単位数		備 考
	必修	選択	
児童館論		2	
児童館活動内容 a		2	
児童館活動内容 b		2	
児童館実習		2	
単 位 数 合 計		8	

(3) 公認心理師に関する科目

授 業 科 目 名	単位数		備 考
	必修	選択	
公認心理師の職責		2	
心理演習		2	
心理実習		3	
単位数合計		7	

別表 3 (第 45 条関係)

検定料，入学料，授業料等の金額

(単位：円)

種 別 \ 学部・学科		人間学部	人間生活学部	
		心理学科 コミュニケーション学科	健康栄養学科	子ども教育学科
検 定 料		30,000 (15,000)	30,000 (15,000)	30,000 (15,000)
入 学 料		250,000	250,000	250,000
授 業 料 (年 額)	1 年次	700,000	800,000	700,000
	2 年次	700,000	800,000	700,000
	3 年次	700,000	800,000	700,000
	4 年次	700,000	800,000	700,000
教育充実費 (年 額)	1 年次	160,000	160,000	160,000
	2 年次	410,000	410,000	410,000
	3 年次	410,000	410,000	410,000
	4 年次	410,000	410,000	410,000

備考

- 1 検定料の項中（ ）内の金額は，大学入学共通テスト利用の入学試験における検定料の額を示す。
- 2 学長は，別に定めるところにより，この表に掲げる検定料等を減免することができる。

別表 4 (第 50 条関係)

在籍料の金額

費 目	金 額
在籍料	半期 60,000 円

変更事項を記載した書類(変更の事由及び変更点を簡潔にまとめたもの)

1. 定員変更

編入学試験の受験者数の実態に即し、人間学部心理学科の3年次編入学定員2名を0名に減じ、同学部コミュニケーション学科の3年次編入学定員2名を0名に減じ、人間生活学部健康栄養学科の3年次編入学定員2名を0名に減じる収容定員の変更に伴う学則の変更を行う。ただし、定員に欠員が生じている場合に限り、欠員補充として編入学試験を実施のうえ、若干名の編入学者の受け入れを行う。

【令和6年度】

学部	学 科	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員
人間学部	心理学科	95	<u>2</u>	<u>384</u>
	コミュニケーション学科	75	<u>2</u>	<u>304</u>
人間生活学部	健康栄養学科	75	<u>2</u>	<u>304</u>
	子ども教育学科	70	0	280
計		315	<u>6</u>	<u>1,272</u>

→

【令和7年度】

学部	学 科	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員	変更の事由
人間学部	心理学科	95	<u>0</u>	<u>380</u>	編入学定員 変更
	コミュニケーション学科	75	<u>0</u>	<u>300</u>	編入学定員 変更
人間生活学部	健康栄養学科	75	<u>0</u>	<u>300</u>	編入学定員 変更
	子ども教育学科	70	0	280	
計		315	<u>0</u>	<u>1,260</u>	

2. 教育課程の改正

①人間学部心理学科

教育課程の改正に伴う学則の変更はなし。

②人間学部コミュニケーション学科

教育課程の改正に伴う学則の変更はなし。

③人間生活学部健康栄養学科

教育課程の改正に伴う学則の変更はなし。

仁愛大学学則 新旧対照表

新					旧				
第1条・第2条 (略)					第1条・第2条 (略)				
(学部、学科及び学生定員)					(学部、学科及び学生定員)				
第3条 本学において設置する学部、学科及びその学生定員は、次のとおりとする。					第3条 本学において設置する学部、学科及びその学生定員は、次のとおりとする。				
学部名	学 科 名	入学定員	<u>(削除)</u>	収容定員	学部名	学 科 名	入学定員	<u>編入学定員</u>	収容定員
人 間 学 部	心理学科	95 名	<u>(削除)</u>	<u>380 名</u>	人 間 学 部	心理学科	95 名	<u>3 年次 2 名</u>	<u>384 名</u>
	コミュニケーション学科	75 名	<u>(削除)</u>	<u>300 名</u>		コミュニケーション学科	75 名	<u>3 年次 2 名</u>	<u>304 名</u>
人 間 生 活学部	健康栄養学科	75 名	<u>(削除)</u>	<u>300 名</u>	人 間 生 活学部	健康栄養学科	75 名	<u>3 年次 2 名</u>	<u>304 名</u>
	子ども教育学科	70 名		280 名		子ども教育学科	70 名		280 名
2 本学に大学院を置く。					2 本学に大学院を置く。				
3 大学院に関し必要な事項は、別に定める。					3 大学院に関し必要な事項は、別に定める。				
第4条～第22条 (略)					第4条～第22条 (略)				
(編入学)					(編入学)				
第23条 学長は、次の各号の一に該当する者で、本学に編入学を志願する者には、第3条第1項の編入学定員の規程により、選考の上、教授会の議を経て3年次に入学を許可する。					第23条 学長は、次の各号の一に該当する者で、本学に編入学を志願する者には、第3条第1項の編入学定員の規程により、選考の上、教授会の議を経て3年次に入学を許可する。				
一 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し 62 単位以上修得して退学した者					一 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し 62 単位以上修得して退学した者				
二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者					二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者				
三 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規程による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者					三 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規程による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者				
四 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者(ただし、学校教育法第90条に <u>規定</u> する大学入学資格を有する者に限る)					四 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者(ただし、学校教育法第90条に <u>規程</u> する大学入学資格を有する者に限る)				
2 前項に <u>規定</u> するもののほか、編入学に関し必要な事項は別に定める。					2 前項に <u>規程</u> するもののほか、編入学に関し必要な事項は別に定める。				
第24条～第60条 (略)					第24条～第60条 (略)				
附則					附則				
1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。(略)					1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。(略)				
<u>附 則</u>									
<u>この学則は、令和7年4月1日から施行する。但し、令和6年度以前の入学者については、従前のとおりとする。</u>									
<u>2 第3条第1項の編入学定員の規定は、令和7年度から適用する。</u>									
<u>3 令和7年度における人間学部心理学科の収容定員は、第3条第1項の規定にかかわらず、次のとおりとする。</u>									

学部	学科	令和7年度
人間学部	心理学科	382名

4 令和7年度における人間学部コミュニケーション学科の収容定員は、第3条第1項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	令和7年度
人間学部	コミュニケーション学科	302名

5 令和7年度における人間生活学部健康栄養学科の収容定員は、第3条第1項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	令和7年度
人間生活学部	健康栄養学科	302名

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

- ア 学則変更（収容定員変更）の内容
- イ 学則変更（収容定員変更）の必要性
- ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容
 - （１）教育課程の変更内容
 - （２）教育方法及び履修指導方法の変更内容
 - （３）教員組織の変更内容
 - （４）大学全体の施設・設備の変更内容
- エ ２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画
- オ 大学設置基準第 25 条の 4 の規定に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外 の場所で行う場合の具体的計画

資料目次

- （資料 1）仁愛大学人間学部心理学科 ３年次編入学試験の実績
- （資料 2）大学への編入学者数
- （資料 3）仁愛大学人間学部コミュニケーション学科 ３年次編入学試験の実績
- （資料 4）仁愛大学人間学部健康栄養学科 ３年次編入の実績

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

このたび、仁愛大学の収容定員の変更を次の①～③のとおりに行いたい。

- ①人間学部心理学科の3年次編入学定員について、現行2名を0名に減員する。
- ②人間学部コミュニケーション学科の3年次編入学定員について、現行2名を0名に減員する。
- ③人間生活学部健康栄養学科の3年次編入学定員について、現行2名を0名に減員する。

（現行）

学部名	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
人間学部	心理学科	95	<u>2</u>	<u>384</u>
	コミュニケーション学科	75	<u>2</u>	<u>304</u>
人間生活学部	健康栄養学科	75	<u>2</u>	<u>304</u>
	子ども教育学科	70	—	280
大学全体		315	<u>6</u>	<u>1272</u>

（変更後 令和7年度）

学部名	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
人間学部	心理学科	95	—	<u>380</u>
	コミュニケーション学科	75	—	<u>300</u>
人間生活学部	健康栄養学科	75	—	<u>300</u>
	子ども教育学科	70	—	280
大学全体		315	—	<u>1260</u>

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

- ①人間学部心理学科の3年次編入学定員を現行2名から0名に減員することについて

人間学部心理学科は、平成13年4月の仁愛大学開学時より開設している学科である。（入学定員95名、3年次編入学定員2名）

開設時から、3年次編入学定員（10名）を設け、併設の仁愛女子短期大学や近県の短期大学に在籍する学生にとって大きな学習意欲の刺激となるほか、心理学科が今日的な問題を積極的に取り扱おうとする学科であることから、既に社会人である過年度卒業者、あるいは異なる分野の大学卒業者にとっては、リカレント教育の場として有効に機能するものであり、地域の生涯学習機関の整備充実に寄与することをその目的としてきた。また、編入学定員の確保の方策についても、県内及び近県の短期大学等の連携を深め、広報並びに試験方法の工夫に努めてきたものである。

また、平成15年度から開始された3年次編入学試験については、編入学試験の実績を鑑み、令和2年度から3年次編入学定員を2名とすることの届出を行ったところである。

しかしながら、直近5年間（令和2年度～令和6年度）の実績は、最大で3名、令

和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間の編入学者の平均は、1.6 名であった。【資料 1】

また、短期大学等卒業者の大学への編入学者数については、全国において、25 年前の平成 10 年度の 16,001 人と比べ令和 5 年度にあつては 7,864 人と 8,137 人の減(H10 比 49.15%に減)と、著しく減少している。【資料 2】

これらの現状と今後の 18 歳人口の減少を考慮した結果、編入学定員 2 名の確保については今後とも困難であると判断し、2 名減員し編入学定員を 0 名としたい。なお、当該事項は、本学科の収容定員充足率の向上に寄与するものである。

ただし、定員に欠員が生じている場合に限り、欠員補充として編入学試験を実施のうえ、若干名の編入学者の受け入れを行うこととしたい。

②人間学部コミュニケーション学科の 3 年次編入学定員を現行 2 名から 0 名に減員することについて

人間学部コミュニケーション学科は、心理学科と併せて平成 13 年 4 月の仁愛大学開学時より開設している学科である。(入学定員 75 名、3 年次編入学定員 2 名)

開設当初は 3 年次編入学定員は 10 名であったが、当初より定員を満たすことはなく、また、①の心理学科で前述したとおり、短期大学等卒業者の大学への編入学者数について全国的に減少していることから、平成 25 年 8 月に 5 名減員し、3 年次編入学定員を 5 名とすることの届出を行った。その後、受験機会を年 2 回に設定し直すとともに、近隣の短期大学等を積極的に訪問するなど、その募集活動に努めてきた。また、令和 2 年度から 3 年次編入学定員を 2 名とすることの届出を行ったところである。

しかしながら、直近 5 年間（令和 2 年度～令和 6 年度）の実績は、最大で 1 名、平均では 0.2 名に留まっている。【資料 3】

これらの現状と今後の 18 歳人口の減少を考慮した結果、編入学定員 2 名の確保については今後とも困難であると判断し、2 名減員し編入学定員を 0 名としたい。

ただし、定員に欠員が生じている場合に限り、欠員補充として編入学試験を実施のうえ、若干名の編入学者の受け入れを行うこととしたい。

③人間生活学部健康栄養学科の 3 年次編入学定員を現行 2 名から 0 名に減員することについて

人間生活学部健康栄養学科は、平成 21 年 4 月に開設した学科である。(入学定員 75 名、3 年次編入学定員 2 名)

開設時においては、3 年次編入学定員（5 名）を設け、短期大学等の栄養士免許を取得した卒業生が、管理栄養士を目指すことを想定したものであり、特に、併設の仁愛女子短期大学生生活科学学科食物栄養専攻からの編入学に資することを想定していた。

編入学定員の確保の方策については、受験機会を年 2 回に設定し、近隣の短期大学等を積極的に訪問するなど、その募集活動に努めてきた。また、令和 2 年度から 3 年次編入学定員を 2 名とすることの届出を行った。

しかしながら、直近5年間（令和2年度～令和6年度）の実績は、最大で3名、平均では1.0名に留まっている。【資料4】

これらの現状と今後の18歳人口の減少を考慮した結果、編入学定員2名の確保については今後とも困難であると判断し、2名減員し編入学定員を0名とする変更を行うこととしたい。

ただし、定員に欠員が生じている場合に限り、欠員補充として編入学試験を実施のうえ、若干名の編入学者の受け入れを行うこととしたい。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）教育課程の変更内容

- ①人間学部心理学科において、収容定員変更に伴う教育課程の変更は行なわない。
- ②人間学部コミュニケーション学科において、収容定員変更に伴う教育課程の変更は行なわない。
- ③人間生活学部健康栄養学科において、収容定員変更に伴う教育課程の変更は行なわない。

（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容

- ①人間学部心理学科において、収容定員変更に伴う教育方法及び履修指導方法の変更は行なわない。
- ②人間学部コミュニケーション学科において、収容定員変更に伴う教育方法及び履修指導方法の変更は行なわない。
- ③人間生活学部健康栄養学科において、収容定員変更に伴う教育方法及び履修指導方法の変更は行なわない。

（3）教員組織の変更内容

- ①人間学部心理学科において、収容定員変更に伴う教員組織の変更は予定していない。
- ②人間学部コミュニケーション学科において、収容定員変更に伴う教員組織の変更は予定していない。
- ③人間生活学部健康栄養学科において、収容定員変更に伴う教員組織の変更は予定していない。

（4）大学全体の施設・設備の変更内容

収容定員変更に伴う施設・設備の変更は予定していない。

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

実施無しのため記載なし。

オ 大学設置基準第 25 条の 4 の規定に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画

実施無しのため記載なし。

資 料 目 次

(資料 1) 仁愛大学人間学部心理学科 3 年次編入学試験の実績

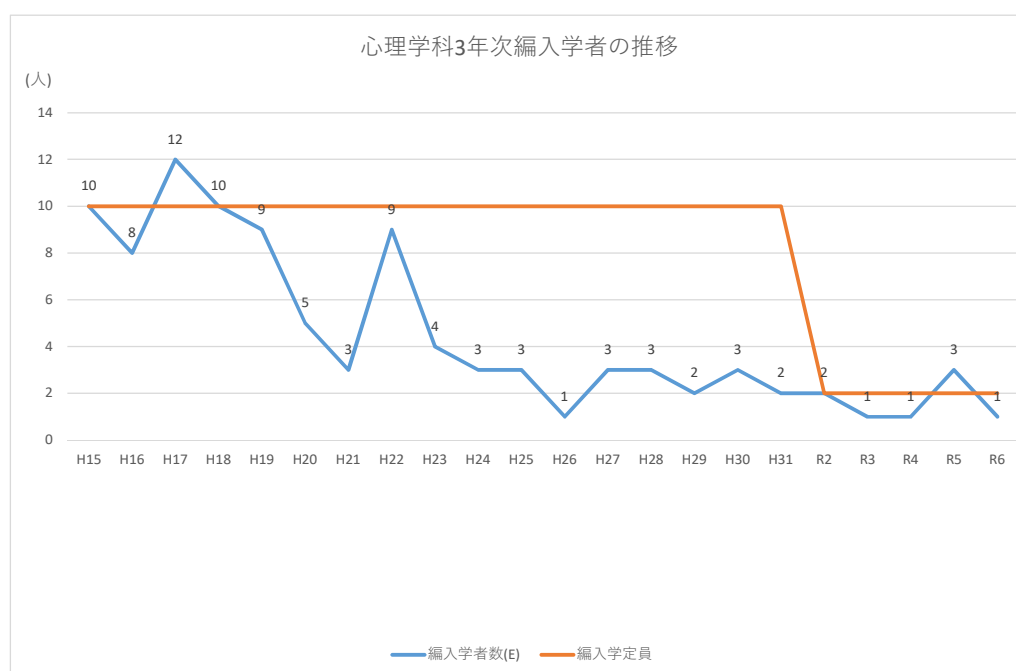
(資料 2) 大学への編入学者数

(資料 3) 仁愛大学人間学部コミュニケーション学科 3 年次編入学試験の実績

(資料 4) 仁愛大学人間学部健康栄養学科 3 年次編入の実績

【資料１】仁愛大学人間学部心理学科 3年次編入学試験の実績

編入年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	平均	平均 R2～R6
編入学定員(A)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	2	2	2	2	2	8.18	2.00
志願者数(B)	13	12	14	12	14	5	3	10	7	5	3	1	3	5	2	3	4	2	1	1	3	1	5.64	1.60
編入学者数(E)	10	8	12	10	9	5	3	9	4	3	3	1	3	3	2	3	2	2	1	1	3	1	4.45	1.60
定員充足率E/A	1.00	0.80	1.20	1.00	0.90	0.50	0.30	0.90	0.40	0.30	0.30	0.10	0.30	0.30	0.20	0.30	0.20	1.00	0.50	0.50	1.50	0.50	0.60	0.80



【資料2】大学への編入学者数

（6）大学への編入学者数（図2）

大学（学部）への編入学者数は、令和5年度において、全国で短期大学からの編入学者が3,576人、高等専門学校からは2,572人、専修学校（専門課程）からは1,476人、高等学校（専攻科）からは83人で、25年前の平成10年度と比べ8,137人の減（H10比49.15%に減）、また、15年前の平成20年度と比べ4,226人の減（H20比65.05%に減）となっており、編入希望者数は大きく数を減らしている。

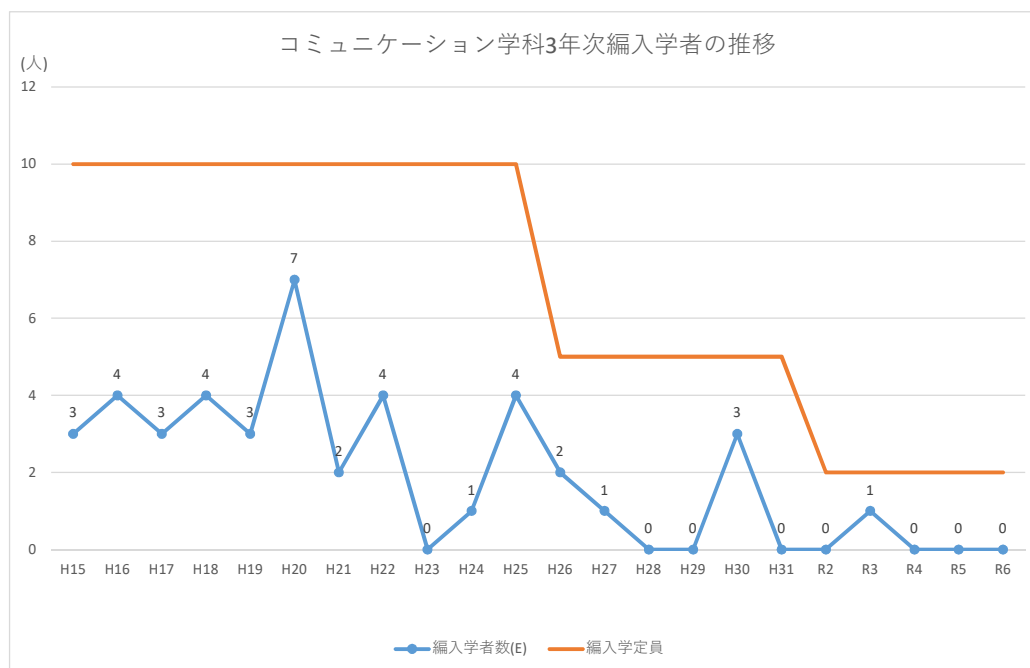
図2 大学（学部）への編入学者

編入年度	H10	H15	H20	H25	H30	R4	R5
短期大学からの編入学者数（昼間）	13,437	9,762	7,464	4,927	3,832	4,321	3,576
高等専門学校からの編入学者数（昼間）	2,564	2,466	2,871	2,510	2,395	2,455	2,572
専修学校（専門課程）からの編入学者数（昼間）		1,655	1,755	1,618	1,451	2,153	1,633
高等学校（専攻科）からの編入学者数					30	68	83
編入学者合計	16,001	13,883	12,090	9,055	7,708	8,997	7,864

文部科学省「学校基本調査」をもとに作成

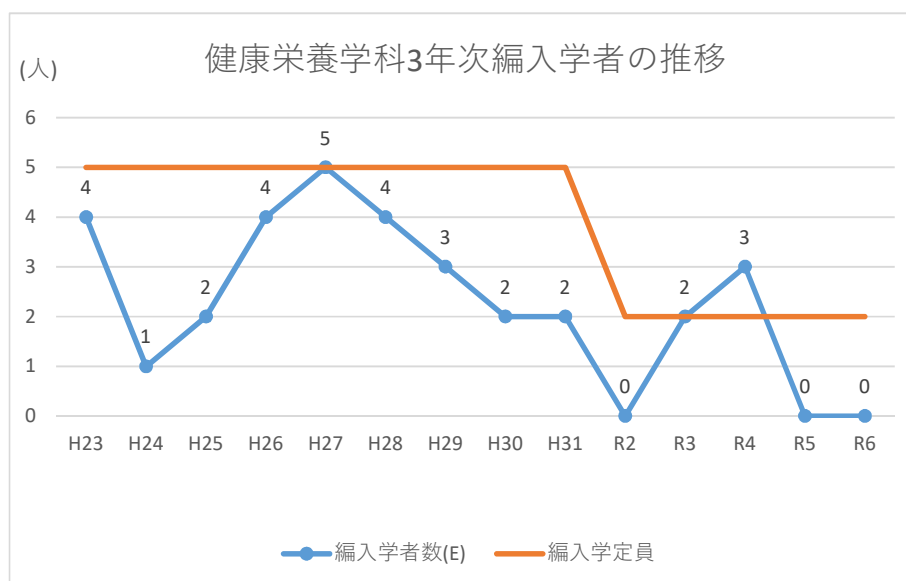
【資料3】 仁愛大学人間学部コミュニケーション学科 3年次編入学試験の実績

編入年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	平均	平均 R2～R6
編入学定員 (A)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	6.82	2.00
志願者数 (B)	4	5	3	4	3	7	2	5	3	3	4	2	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	2.27	0.20
編入学者数 (E)	3	4	3	4	3	7	2	4	0	1	4	2	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1.91	0.20
定員充足率E/A	0.30	0.40	0.30	0.40	0.30	0.70	0.20	0.40	0.00	0.10	0.40	0.40	0.20	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.24	0.10



【資料４】仁愛大学人間学部健康栄養学科 ３年次編入の実績

編入年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	平均	平均 R2～R6
編入学定員(A)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	3.93	2.00
志願者数(B)	4	1	4	5	9	6	4	3	2	0	3	3	0	0	3.14	1.20
編入学者数(E)	4	1	2	4	5	4	3	2	2	0	2	3	0	0	2.29	1.00
定員充足率E/A	0.80	0.20	0.40	0.80	1.00	0.80	0.60	0.40	0.40	0.00	1.00	1.50	0.00	0.00	0.56	0.50



学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要

- ①収容定員を変更する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）・・・p. 2
- ②収容定員を変更する組織の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 2

(2) 人材需要の社会的な動向等

- ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析・・・p. 3
- ②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析・・・・・・・・・・p. 6
- ③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 7
- ④既設組織の定員充足の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 8

(3) 学生確保の見通し

- ①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 8
 - ア 既設組織における取組とその目標
 - イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標
 - ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，収容定員を変更する組織での入学者の見込み数
- ②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）・p. 10
 - ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析，優位性
 - イ 競合校の入学志願動向等
 - ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）
 - エ 学生納付金等の金額設定の理由
- ③先行事例分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 16
- ④学生確保に関するアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 16
- ⑤人材需要に関するアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 17

(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 20

編入学定員の変更を行う「収容定員を変更する組織」における学生確保の見通し等を以下に記載する。

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）

ア 人間学部心理学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間学部心理学科	95	—	380	福井県越前市 大手町3字1番地1

イ 人間学部コミュニケーション学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科	75	—	300	福井県越前市 大手町3字1番地1

ウ 人間生活学部健康栄養学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間生活学部健康栄養学科	75	—	300	福井県越前市 大手町3字1番地1

②収容定員を変更する組織の特色

○ 収容定員を変更する組織の特色

ア 人間学部心理学科

心理学科は、人間の心理や行動特性に関する教授研究を通して、心理学の専門知識と相談・援助の技術を有する人材を養成することを目的としている。

イ 人間学部コミュニケーション学科

コミュニケーション学科は、人間の相互理解と意思伝達に関する教授研究を通して、コミュニケーション学の専門知識とコミュニケーションの技術を有する人材を養成することを目的としている。

ウ 人間生活学部健康栄養学科

健康栄養学科は、人間の食生活に関する教授研究を通して、栄養学の専門知識と健康管理の技術を有する人材を養成することを目的としている。

○ 既設組織の概要

ア 人間学部心理学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間学部心理学科	95	2	384	福井県越前市 大手町3字1番地1

イ 人間学部コミュニケーション学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科	75	2	304	福井県越前市 大手町3字1番地1

ウ 人間生活学部健康栄養学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間生活学部健康栄養学科	75	2	304	福井県越前市 大手町3字1番地1

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

ア 人間学部心理学科

当該学科は、心理学分野を学ぶ学科である。当該分野を持つ大学の学部は、日本私立大学振興・共済事業団が毎年度実施している「令和5年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向の調査」（以下、「私学事業団調査」という）によると、全国にある心理学部は26学部、入学定員3,783名に対して、志願者数は32,716名で8.65倍と、全国的に高い志願倍率がある。また集計対象の心理学部における入学定員充足率は104.2%となっている【資料1】。

地域的に見ると本学が所在する福井県においては、心理学分野を専門とする学科は本学以外に存在せず、また公認心理師に対応した教育課程をもつ大学（学科）も福井県、石川県及び富山県（以下、「北陸圏」という。）において石川県で5校（国立大学1校、私立大学4校）、また富山県で1校（国立大学1校）のみとなっている【資料2】。

本学の心理学科を卒業した者は、そのほとんどが地域産業に就職（令和5年度就職内定率95.2%）しており、地域で求められる人材を輩出している。さらに、当該学科は公認心理師対応の教育課程を有しており、県内唯一の公認心理師養成機関である本学の大学院へ進学する学生も多い。産業人材の養成及び公認心理師養成のため、地域への人材輩出のため、機関としての意義は大きい。

【資料 1】全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
心理学部	26	3,783	32,716	8.65	3,942	104.2

日本私立大学振興・共済事業団

「令和 5 年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向の調査」をもとに作成

【資料 2】公認心理師対応の教育課程を持つ大学（北陸圏・令和 6 年度現在）

県名	No	学校名	種別	学部名	学科名
富山県	1	富山大学	国立	人文学部	心理学コース
石川県	1	金沢大学	国立	人間社会学域	人文学類
	2	金沢工業大学	私立	情報フロンティア学部	心理科学科
	3	北陸大学	私立	国際コミュニケーション学部	心理社会学科
	4	金沢学院大学	私立	文学部	文学科心理学専攻
	5	北陸学院大学	私立	社会学部	社会学科
福井県	1	仁愛大学	私立	人間学部	心理学科

イ 人間学部コミュニケーション学科

当該学科は、社会科学系及び人文学系の関係の学科である。当該分野の大学は、私学事業団調査によると、社会科学系の分野においては定員充足が継続しており（別紙 1）、全国では社会科学系の社会学部 27 学部、入学定員 8,519 名に対して、志願者数は 83,754 名で、9.83 倍と全国的に高い志願倍率がある。また集計対象の学部における入学定員充足率は 101.14%となっている【資料 3】。

また、人文科学系の分野においても概ね定員充足が継続しており（別紙 1）、中でも外国語学部、国際文化学部及び人間学部計 50 校において、入学定員 13,844 名に対して志願者数は 74,520 名で 5.38 倍と、こちらも全国的に見て高い志願倍率がある。また集計対象の 50 校における入学定員充足率は 93.95%となっている【資料 3】。

また地域的にみると、本学が所在する福井県では、社会科学系の分野を中心に学ぶことの出来る学部は少なく、国立大学 1 校、公立大学 1 校、私立大学における文系の学部としては本学のみとなっている【資料 4】。本学科を卒業した者は、その多くが地域産業に就職を果たすことから、人材輩出のため地域における意義は大きい。

【資料 3】全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
社会学部	27	8,519	83,754	9.83	8,616	101.14

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
外国語学部	27	9,533	57,251	6.01	9,212	96.63
国際文化学部	12	2,061	11,590	5.62	1,910	92.67
人間学部	11	2,250	5,679	2.52	1,884	83.73
合計	50	13,844	74,520	5.38	13,006	93.95%

【資料 4】主に社会科学系の分野を持つ大学（福井県・令和 6 年度現在）

県名	No	学校名	種別	学部名	学科名
福井県	1	福井大学	国立	国際地域学部	国際地域学科
	2	福井県立大学	公立	経済学部	経済学科
				経済学部	経営学科
	3	仁愛大学	私立	人間学部	コミュニケーション学科

ウ 人間生活学部健康栄養学科

当該学科は、栄養学の分野を持つ学科である。管理栄養士養成課程及び栄養士養成課程である。私学事業団調査によると、家政分野においては若干の定員割れが起こっているものの（別紙 1）、当該学科に関連する家政学部、健康栄養学部（群）、生活科学部に焦点をあてると全国では学部数 35 学部、入学定員 6,662 名に対して、志願者数は 21,819 名で志願倍率は 3.28 倍となっており、全国的に見ても高い志願状況が確認できる【資料 5】。

また地域的にみると、北陸圏においては、管理栄養士養成課程が本学を含め私立大学 3 校のみとなっており、福井県では本学のみとなっている【資料 6】。

令和 6 年度に本法人が設置する仁愛女子短期大学生生活科学学科食物栄養専攻が学生募集を停止することに伴い、当該専攻の廃止以降は、県内唯一の課程となる。管理栄養士及び栄養士といったエッセンシャルワーカーの養成校として、当該学科の地域における意義は高い。

【資料 5】全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
家政学部	15	3,775	12,981	3.44	3,498	92.66
健康栄養学部（群）	12	1,190	2,532	2.13	1,061	89.16
生活科学部	8	1,697	6,306	3.72	1,821	107.31
合計	35	6,662	21,819	3.28	6,380	95.77%

【資料 6】管理栄養士養成施設（北陸圏・令和 6 年度）

県名	No	学校名	種別	学部名	学科名
石川県	1	金沢学院大学	私立	栄養学部	栄養学科
	2	北陸学院大学	私立	健康科学部	栄養学科
福井県	1	仁愛大学	私立	人間生活学部	健康栄養学科

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

国立社会保障・人口問題研究所が公表している資料によると、令和7年度に入学対象となる18歳が生まれた平成18年出生数は全国で1,092,674名であったのに対し、令和4年は770,759名となっており321,915名が減少（H18比70.5%に減）している【資料7】。

本県における出生数も全国傾向と同様に下降しており、厚生労働省が公表している「人口動態統計」によると、令和7年度に入学対象となる18歳が生まれた平成18年出生数は7,324名であったのに対し、令和4年出生数は4,861名と、16年間の間に2,463名減少（H18比65.9%に減）している。【資料9】。

しかしながら、福井県内の高等学校卒業者数を10年前の平成25年と令和5年を比較すると1,109名（14%減）減少しているが、大学・短大等への進学者数は進学率の上昇により逆に2%増加している。さらに県内大学等への進学者数についても10年間ほぼ変化していない。こうした状況から、引き続き入学者の確保が可能であると考えている。なお、本県の定員充足状況は100%を超えており、充足していると言える（充足率は「学校基本調査」都道府県別学部学生数を、県内四年制大学収容定員で除して算出（別紙1））。

ただ本学においては、入学者の約9割（令和5年度入学生92.3%）が福井県出身者で占められており、地域的動向の変動が本学の入学者に大きな影響を与えることから、県外からの入学確保に向けた取り組みを強化していく。【資料8】。

【資料7】全国における出生数推移（H18～R4）

単位（人）

年 度	2006	2010	2015	2020	2022
	H18	H22	H27	R2	R4
出生数（人）	1,092,674	1,071,305	1,005,721	840,835	770,759

国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」をもとに作成

【資料8】仁愛大学 令和5年度出身高校の所在地県別入学者数

単位（人）

	人間学部 心理学科 コミュニケーション学科	人間生活学部 健康栄養学科 子ども教育学科	合計	割合
県内	143	96	239	92.28%
県外	13	7	20	7.72%
全体	156	103	259	

【資料9】福井県における入学対象者の出生年及び出生数推移（H18～R4）

単位（人）

	2025	2026	2027	2028	2033	2038	2041
入学年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R15年度	R20年度	R23年度
出生年	H18	H19	H20	H21	H26	R1	R4
出生数	7,324	7,191	7,139	7,042	6,166	5,306	4,861

厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

前述のとおり、本学は入学者のそのほとんどが福井県出身者で占められており、地域的動向の変動が本学の入学者に大きな影響を生じさせる。このことから、収容定員を変更する組織における主な学生募集地域は、本学が立地する福井県を主とし近隣県の石川県及び富山県となる。

福井県においては、文部科学省が公表している令和5年度「学校基本調査」において、出身高校の所在地県別入学者数によると、令和5年度に福井県内の大学に進学した2,324名のうち、県内出身者は1,304名(56.1%)となっており、その他、約4割が県外出身者となっている【資料10】。

対して隣県の石川県においては、6,540名のうち、県内出身者は2,705名(41.3%)であり、その他3,835名(58.7%)が県外となっている【資料11】。県外から福井県内の大学へ進学する割合が低い割合に留まっていることから、本学にあっては、特に本県より人口規模が大きい石川県、富山県などを中心に、学生募集を従来以上に積極的に行い、県外に対して広く募集活動を行うことで志願者を獲得する施策をとる必要がある。

【資料10】

単位(人)

【資料11】

単位(人)

・福井県内の大学への進学者数(令和5年度)

区分	人数	割合
県内出身者	1,304 名	56.1%
県外出身者	1,020 名	43.9%
合計	2,324 名	

・石川県内の大学への進学者数(令和5年度)

区分	人数	割合
県内出身者	2,705 名	41.4%
県外出身者	3,835 名	58.6%
合計	6,540 名	

文部科学省「学校基本調査」による

また、本県の高等学校卒業生で大学に進学した4,073名のうち、福井県内大学への進学者数は1,304名(32%)、県外の大学への進学者数は2,769名(68.0%)となっている。県外進学者数の多い都道府県については、上位から、京都府517名(12.6%)、大阪府383名(9.4%)、石川県323名(7.9%)となっており、近隣の都市部への進学が目立つ傾向にある【資料12】。このように、本県からは県外への進学が目立つことから、福井県内の高等学校に対して積極的に募集広報を行い、これまで県外へ進学していた層を確保していくための学生募集施策をとる必要がある。

【資料12】

・進学先の都道府県(令和5年度)

1	福井県	1,304 名
2	京都府	517 名
3	大阪府	383 名
4	石川県	323 名
5	東京都	292 名

文部科学省「学校基本調査」による

【添付データ】・新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙１）

④既設組織の定員充足の状況

既設組織においては、以下の表に示すように、いずれの学部にあっても、収容定員の未充足の状況が続いている【資料 13】。この度の、収容定員変更届出による編入学定員の減は、収容定員に対する充足状況の改善に資するものである。

【資料 13】令和 6 年度収容定員充足状況について（既設組織）

単位（人）

学校名	学部等名	学科等名	入学定員	入学者数	編入学者数	収容定員	在籍者数	充足率
仁愛大学	人間学部	心理学科	95	58	1	384	328	85.4%
		コミュニケーション学科	75	66	0	304	262	86.2%
	人間生活学部	健康栄養学科	75	62	0	304	220	72.4%
			245	186	1	992	810	81.7%

【添付データ】・既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）（別紙 2）

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

学生確保においては、教職員による高校訪問や模擬授業の実施、進学説明会への参加、ホームページ等での広報活動など多様な活動により取り組みを展開している。今後さらに教員による県外の学校訪問数を増やし、各学科の PR に努めていく。特にオープンキャンパスにおいては、年間において 3 月から 9 月まで計 5 回を実施しており、内容としては、学科説明、模擬授業、入試説明会、各学科における研究分野の体験等、入学した後の学びを実感できる企画を展開している。

直近 5 か年間の参加者にあっては、コロナ禍においては参加者が減少したが、令和 4 年、5 年度には以前の来場者数にまで戻ってきており、入学定員 315 名の 4 倍近い高校生が参加している。【資料 14】。

オープンキャンパスにあっては、大学における教育研究の内容はもとより大学の雰囲気を知ることが出来る機会であることから、受験に繋げられる機会となるよう参加を積極的に働きかけることとしたい。

【資料 14】オープンキャンパス参加状況

単位(人)

	R1年度				R2年度				R3年度				R4年度				R5年度			
	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者
3月	215	151	6	0	中止				156	92	0	0	166	108	0	0	231	140	0	0
6月	278	167	20	1	中止				104	64	5	0	295	160	10	0	233	122	8	1
7月	216	132	10	1	中止				142	69	7	2	261	150	7	0	257	135	10	1
8月	393	239	15	1	中止				301	174	5	2	374	235	2	0	292	174	16	0
9月	260	142	10	0	280	280	8	0	181	123	3	0	249	149	7	0	203	108	4	0
合計	1,362	831	61	3	280	280	8	0	884	522	20	4	1,345	802	26	0	1,216	679	38	2

【添付データ】・既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（別紙 3）

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

「収容定員を変更する組織」については、前述の「ア」の取組を積極的に行うことによって入学者の確保に努めることとしたい。

県外から本学へ入学する学生は例年 30～40 名いたが、直近 2 年間では 20 名程度に減少している。18 歳人口の減少に伴う影響と捉えているが、特に本県より人口規模が大きい石川県、富山県などを中心に、学生募集を従来以上に積極的に行い、県外に対して広く募集活動を行うことで志願者を獲得する施策をとっていききたい。

また、本県からは県外への進学が目立つことから、福井県内の高等学校に対して積極的に募集広報を行い、これまで県外へ進学していた層を確保していくための学生募集施策をとっていききたい。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

上記、「ア」においては、オープンキャンパスへ参加した高校生は本学の入学定員を超えており、進学意欲の向上に繋げることが出来れば、入学定員を充足することが可能と考えられる。そのため、収容定員を変更する組織における入学者の見込数にあっては、以下のとおりとしたい。

(ア) 人間学部心理学科

収容定員を変更する組織	入学定員 (人)	入学見込 (人)
仁愛大学 人間学部心理学科	95	95

上記入学定員にあっては、前述のように、既設組織における取組においてオープンキャンパス参加者数が、入学定員に対し上回っており、過去 5 年間の平均志願倍率も 1.92 倍【資料 22】となっていることから、入学見込を既設組織の入学定員同数とする。

(イ) 人間学部コミュニケーション学科

収容定員を変更する組織	入学定員 (人)	入学見込 (人)
仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科	75	75

上記入学定員にあつては、前述のように、既設組織における取組においてオープンキャンパス参加者数が、入学定員に対し上回っており、過去5年間の平均志願倍率も2.03倍【資料23】となっていることから、入学見込を既設組織の入学定員同数とする。

(ウ) 人間生活学部健康栄養学科

収容定員を変更する組織	入学定員 (人)	入学見込 (人)
仁愛大学 人間生活学部健康栄養学科	75	75

上記入学定員にあつては、前述のように、既設組織における取組においてオープンキャンパス参加者数が、入学定員に対し上回っており、過去5年間の平均志願倍率も1.30倍【資料24】となっていることから、入学見込を既設組織の入学定員同数とする。

②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析，優位性

(ア) 人間学部心理学科

○ 競合校の選定理由

競合校として、金沢学院大学文学部文学科心理学専攻（石川県金沢市）を挙げる。本学に入学した学生を対象としたアンケートによると、併願先の大学として当該大学が確認できることから、競合校として考えられる。

当該専攻は、学問分野として本学と同じく心理学分野について教育研究を進めていることから、当該分野への進学者間で競合していることが考えられる。また、大学院人文学研究科人文学専攻修士課程を設置しており、北陸圏の文系私立大学においては、本学以外に大学院を併設しているのは当該大学しか該当しないことから、競合していると考えられる。

所在地としては、本学から119.5kmに位置しているものの、交通機関等の利用により主要駅（金沢駅）へ1時間以内にアクセス出来る圏内にあることから、地理的にも競合していることが考えられる。

○ 競合校との比較分析

【資料 15】心理学科における競合校との対比

区分		金沢学院大学 文学部 文学科 心理学専攻	仁愛大学 人間学部心理学科
入試（2024年度）		エントリー選抜（総合型選抜） 学校推薦型選抜/KGスカラシッ プ学校推薦型選抜 一般選抜/KGスカラシッポー 一般選抜 大学共通テスト利用選抜/KGス カラシッブ共通テスト利用選抜 社会人選抜 編入学試験	学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜 一般選抜スカラシッブ 共通テスト利用選抜 社会人入試 海外帰国生入試 外国人留学生入試 3年次編入学試験
学生納付金 (2024年度)	初年度年額（入学金含）	1,210,000	1,110,000
	2～4年次（年額）	1,020,000	1,110,000
	4年間合計	4,270,000	4,440,000
就職支援の内容（就職率）		99.7%（全学部） [2024.3卒]	95.2%（心理学科） [2024.3卒]
取得できる資格		公認心理師 学部カリキュラム 対応 児童心理司（任用資格） 児童福祉司（任用資格） 児童指導員（任用資格） 放課後児童支援員（任用資格） 司書	公認心理師対応カリキュラム 認定心理士 社会福祉主事（任用資格） 児童福祉司（任用資格） 児童指導員（任用資格）

教育内容については、当該専攻は心理学の分野を中心としたもので、競合校と本学いずれにおいても公認心理師対応の教育課程となっていることや、入試、学生納付金、取得できる資格等において大きな相違はない【資料 15】。

学生納付金については、在学期間 4 年間の合計金額として本学が若干高くなるものの、隣県に位置していることから、学生納付金に加え通学や下宿等の諸費を合わせた場合、在学期間における必要経費としては、本学の方が安価となる可能性が高い点については、本学に優位性があると言える。

（イ）人間学部コミュニケーション学科

○ 競合校の選定理由

競合校として、金沢星稜大学経済学部経済学科（石川県金沢市）を挙げる。本学に入学した学生を対象としたアンケートによると、併願先の大学として当該大学が確認できることから、競合校として考えられる。

当該専攻は、学問分野として本学と同じく社会科学の分野について教育研究を進めていることから、当該分野への進学者希望者間で競合していることが考えられる。

所在地としては、本学から 106.1km に位置しているものの、交通機関等の利用により主要駅（金沢駅）へ 1 時間以内にアクセス出来る圏内にあることから、地理的にも競合していることが考えられる。

○ 競合校との比較分析

【資料 16】コミュニケーション学科における競合校との対比

区分		金沢星稜大学 経済学部経済学科	仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科
入試（2024年度）		学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜一般方式 一般選抜大学入学共通テスト利用方式 一般選抜一般+共通テスト併用方式 社会人選抜 外国人留学生選抜 編入学選抜	学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜 一般選抜スカラシップ 共通テスト利用選抜 社会人入試 海外帰国生入試 外国人留学生入試 3年次編入学試験
学生納付金 (2024年度)	初年度年額（入学金含）	1,200,000	1,110,000
	2～4年次（年額）	1,050,000	1,110,000
	4年間合計	4,350,000	4,440,000
就職支援の内容（就職率）		99.6%（経済学科） [2023.3卒]	100%（コミュニケーション学科） [2024.3卒]
取得できる資格		中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）	中学校一種・高等学校一種教員免許状（英語） 社会調査士 社会福祉主事（任用資格）

教育内容については、競合校は経済学関係として社会科学系の分野の学修を中心に行うのに対し、本学においては、社会学関係として社会科学系の分野の学修及び文学関係の分野の学修を行うことで、一部学修分野に類似性がある。また上記表により、入試方法、学生納付金については、本学と大きな相違はない【資料 16】。

就職支援の内容として、就職率を挙げるが、本学においては 100%と高い就職率を誇っている点については優位性があると言える。

（ウ）人間生活学部健康栄養学科

○ 競合校の選定理由

競合校として、金沢学院大学栄養学部栄養学科（石川県金沢市）を挙げる。本学に入学した学生を対象としたアンケートによると、併願先の大学として当該大学が確認できることから、競合校として考えられる。

当該専攻は、学問分野として本学と同じく栄養学分野について教育研究を進めていることから、当該分野への進学者間で競合していることが考えられる。また、福井県、石川県、富山県の北陸圏の私立大学においては、本学を除き、石川県において当該競合校を含め 2 校に限られることから、競合していると考えられる。

所在地としては、本学から 119.5km に位置しているものの、交通機関等の利用により主要駅（金沢駅）へ 1 時間以内にアクセス出来る圏内にあることから、地理的にも競合していることが考えられる。

○ 競合校との比較分析

【資料 17】健康栄養学科における競合校との対比

区分		金沢学院大学 栄養学部栄養学科	仁愛大学 人間生活学部健康栄養学科
入試（2024年度）		エントリー選抜（総合型選抜） 学校推薦型選抜/KGスカラシッ プ学校推薦型選抜 一般選抜/KGスカラシッポー 一般選抜 大学共通テスト利用選抜/KGス カラシッブ共通テスト利用選抜 社会人選抜 編入学試験	学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜 一般選抜スカラシッブ 共通テスト利用選抜 社会人入試 3年次編入学試験
学生納付金 (2024年度)	初年度年額（入学金含）	1,480,000	1,210,000
	2～4年次（年額）	1,280,000	1,210,000
	4年間合計	5,320,000	4,840,000
就職支援の内容（就職率）		99.7%（全学部） [2024.3卒]	98.4%（健康栄養学科） [2024.3卒]
取得できる資格		管理栄養士 栄養士 食品衛生管理者 栄養教諭一種免許状 食品衛生監視員 社会福祉主事（任用資格） フードスペシャリスト（認定試 験受験資格）	管理栄養士（国家試験受験資 格） 栄養士免許 栄養教諭一種免許状 食品衛生管理者（任用資格） 食品衛生監視員（任用資格） 社会福祉主事（任用資格） フードスペシャリスト（認定試 験受験資格） NR・サプリメントアドバイ ザー

教育内容については、競合校と本学いずれにおいても管理栄養士及び栄養士の養成課程であり大きな相違はない。また上記表により、入試方法については、本学と大きな相違はない【資料 17】。

学生納付金については、4年間の合計金額としては本学が480,000円安い状態にある。学生納付金に加え、通学等を合わせた場合、在学期間における必要経費としては本学の方が安価となる点について優位性がある。

また、本学は、取得できる資格については類似性があるが、本学にあってはNR・サプリメントアドバイザーを取得できる体制にある点について優位性がある。

イ 競合校の入学志願動向等

(ア) 人間学部心理学科

競合校 金沢学院大学文学部文学科心理学専攻

当該学科の収容定員充足率をみると、充足率は過去3か年の間で最高で108.9%、定員割れを起こしたのは1か年のみ77.8%である。概ね収容定員を継続して充足しているといえる【資料18】。このように、競合校において入学者受け入れが堅調なことから、当該心理学関係の分野への関心が継続しているといえ、同分野を持つ本学心理学科においても入学定員を充足する見込みがある。

【資料18】 金沢学院大学文学部文学科入学志願動向 単位（人）

区分	金沢学院大学 文学部文学科		
入試年度	2021	2022	2023
入学定員	180	180	180
志願者数	836	894	719
入学者数	188	196	140
入学定員充足率	104.4%	108.9%	77.8%

(イ) 人間学部コミュニケーション学科

競合校 金沢星稜大学経済学部経済学科

収容定員充足率をみると、競合校のうち充足率は過去3か年の間で、最高で109.6%、最低でも99.3%であり、収容定員を継続して充足しているといえる【資料19】。このように、競合校において入学者受け入れが堅調なことから、当該経済学関係の分野への関心が継続しているといえ、同じ社会科学の分野を有する本学コミュニケーション学科においても入学定員を充足する見込みがある。

【資料19】 金沢星稜大学経済学部経済学科入学志願動向 単位（人）

区分	金沢星稜大学 経済学部 経済学科		
入試年度	2021	2022	2023
入学定員	270	270	270
志願者数	1,580	1,598	1,379
入学者数	268	296	281
入学定員充足率	99.3%	109.6%	104.1%

（ウ）人間生活学部健康栄養学科

競合校 金沢学院大学栄養学部栄養学科

収容定員充足率をみると、競合校のうち充足率は過去3か年の間で、最高で120%、最低でも103.8%であり、収容定員を継続して充足しているといえる【資料20】。このように、競合校において入学者受け入れが堅調なことから、当該栄養学関係の分野への関心が継続しているといえ、同分野を持つ本学健康栄養学科においても入学定員を充足する見込みがある。

【資料20】金沢学院大学栄養学部栄養学科入学志願動向 単位（人）

区分	金沢学院大学 栄養学部 栄養学科		
入試年度	2021	2022	2023
入学定員	80	80	80
志願者数	276	369	282
入学者数	83	88	96
入学定員充足率	103.8%	110.0%	120.0%

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

上記「イ」において、競合校は概ね定員を充足しているため記載なし。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

上記「ア」において、学生納付金については競合校と本学を比較した場合では費用の差が大きいことから、志願にあたって学生納付金の金額が高いこと理由として志望対象外とする可能性は少ないと考えられ、収容定員を変更する組織については、既設組織と同額とする【資料21】。

【資料21】収容定員を変更する組織の学生納付金の金額設定（既設組織と同額）

単位（円）

学部・学科		対象	入学金	学納金		実験実習費	年間合計
				授業料	教育充実費		
人間学部	心理学科	1年目	250,000	700,000	160,000	-	1,110,000
		2年目以降	-	700,000	410,000	-	1,110,000
		4年間計					4,440,000
	コミュニケーション学科	1年目	250,000	700,000	160,000	-	1,110,000
		2年目以降	-	700,000	410,000	-	1,110,000
		4年間計					4,440,000
人間生活学部	健康栄養学科	1年目	250,000	800,000	160,000	-	1,210,000
		2年目以降	-	800,000	410,000	-	1,210,000
		4年間計					4,840,000

③先行事例分析

該当なし。

④学生確保に関するアンケート調査

ア 人間学部心理学科

学生の確保を示すものとして、本学における過去 5 年間の入学試験における志願者と入学者数を挙げる。下記資料によると、志願倍率は過去 5 年の間で 2 倍前後にあり、入学定員に対して一定の志願状況にあるものの、歩留率が 5 割程度と低く、結果、定員充足に至っていない。志願者数が入学定員を上回っていることから、入学定員を充足することは考えられる【資料 22】。

【資料 22】心理学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数 単位（人）

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均
入学定員 (A)	95	95	95	95	95	95
志願者数 (B)	249	238	156	161	110	183
受験者数 (C)	247	233	155	160	109	181
合格者数 (D)	230	225	150	153	103	172
入学者数 (E)	114	99	90	83	58	89
志願倍率 B/A	2.62	2.51	1.64	1.69	1.16	1.92
合格率 D/C	93.1%	96.6%	96.8%	95.6%	94.5%	95.3%
歩留率 E/D	49.6%	44.0%	60.0%	54.2%	56.3%	52.8%
定員充足率E/A	120.0%	104.2%	94.7%	87.4%	61.1%	93.5%

イ 人間学部コミュニケーション学科

学生の確保を示すものとして、本学における過去 5 年間の入学試験における志願者と入学者数を挙げる。下記資料によると、志願倍率は過去 5 年の間で 2 倍前後にあり、入学定員に対して一定の志願状況にあるものの、歩留率が 5 割以下の年が多く、結果、定員充足に至っていない。志願者数が入学定員を上回っていることから、入学定員を充足することは考えられる【資料 23】。

【資料 23】コミュニケーション学科

過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数

単位 (人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均
入学定員 (A)	75	75	75	75	75	75
志願者数 (B)	154	170	169	145	128	153
受験者数 (C)	153	170	168	145	121	151
合格者数 (D)	154	165	162	141	120	148
入学者数 (E)	62	63	69	73	66	67
志願倍率 B/A	2.05	2.27	2.25	1.93	1.71	2.04
合格率 D/C	100.7%	97.1%	96.4%	97.2%	99.2%	98.1%
歩留率 E/D	40.3%	38.2%	42.6%	51.8%	55.0%	45.6%
定員充足率E/A	82.7%	84.0%	92.0%	97.3%	88.0%	88.8%

ウ 人間生活学部健康栄養学科

学生の確保を示すものとして、本学における過去 5 年間の入学試験における志願者と入学者数を挙げる。下記資料によると、志願倍率が 1 倍程度となっているものの、歩留率が 6 割程度となっており、志願者の定着率は高い。志願者数が入学定員を上回っていることから、入学定員を充足することは考えられる【資料 24】。

【資料 24】健康栄養学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数 単位 (人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均
入学定員 (A)	75	75	75	75	75	75
志願者数 (B)	141	84	102	75	84	97
受験者数 (C)	140	83	101	74	83	96
合格者数 (D)	126	80	96	73	82	91
入学者数 (E)	67	52	63	48	62	58
志願倍率 B/A	1.88	1.12	1.36	1.00	1.12	1.30
合格率 D/C	90.0%	96.4%	95.0%	98.6%	98.8%	95.8%
歩留率 E/D	53.2%	65.0%	65.6%	65.8%	75.6%	65.0%
定員充足率E/A	89.3%	69.3%	84.0%	64.0%	82.7%	77.9%

⑤人材需要に関するアンケート調査

(ア) 人間学部心理学科

人材需給を示すものとして、本学に対して寄せられる求人社数及び求人件数並びに本学科の過去 5 年間の就職状況を挙げる。当該学科の就職先としては、卸売・小売業、製造業、サービス業や金融・保険業等産業や医療福祉分野への就職件数が多くを占める【資料 25】。以下、資料によると、令和 5 年度において本学に寄せられ、当該学科の学生が応募対象とな

る企業等については、求人社数 9,403 件、求人件数 26,412 件となっており、就職希望者 69 名に対して、企業等側からの高い需要を確認できる【資料 26】。

【資料 25】過去 5 年間の心理学科卒業生（卒業時）の就職状況

単位（人）

		R1年度 卒業生	R2年度 卒業生	R3年度 卒業生	R4年度 卒業生	R5年度 卒業生	平均
就職率 (B/A)		100.0%	98.2%	98.6%	100.0%	95.2%	98.4%
卒業者数		90	67	84	76	102	84
就職希望者数 (A)		77	55	69	58	84	69
就職者数 (B)		77	54	68	58	80	67
業 種 別 就 職 状 況	卸売・小売業	24	25	17	16	21	21
	製造業	7	3	12	16	17	11
	情報通信業	4	2	6	3	4	4
	複合サービス業	3	3	0	0	0	1
	サービス業	5	4	10	4	9	6
	金融・保険業	4	0	4	3	4	3
	医療福祉	15	8	9	6	14	10
	運輸業	1	1	1	0	0	1
	教育・学習支援業	3	1	0	1	0	1
	建設業	4	3	3	3	2	3
	宿泊・飲食サービス業	2	1	0	2	1	1
	公務（国家・地方）	0	2	4	3	6	3
	不動産・物品賃貸業	5	1	2	1	1	2
	その他（林業）	0	0	0	0	1	0
	電気・ガス・水道業	0	0	0	0	0	0

【資料 26】心理学科学生が対象となる求人数（令和 5 年度）

求人社数	求人件数
9,403	26,412

（イ）人間学部コミュニケーション学科

人材需給を示すものとして、本学に対して寄せられる求人社数及び求人件数を挙げる。当該学科の就職先としては、卸売・小売業、製造業、サービス業や金融・保険業等産業への就職件数とそのほとんどを占める【資料 27】。以下、資料によると、令和 5 年度において本学に寄せられ、当該学科の学生が応募対象となる企業等については、求人社数 9,403 件、求人件数 26,412 件となっており、就職希望者 51 名に対して、企業等側からの高い需要を確認できる【資料 28】。

【資料 27】過去 5 年間のコミュニケーション学科卒業生（卒業時）の就職状況 単位（人）

		R1年度 卒業生	R2年度 卒業生	R3年度 卒業生	R4年度 卒業生	R5年度 卒業生	平均
就職率 (B/A)		98.6%	97.4%	98.6%	100.0%	100.0%	98.9%
卒業者数		71	79	73	76	57	71
就職希望者数 (A)		71	78	69	71	51	68
就職者数 (B)		70	76	68	71	51	67
業 種 別 就 職 状 況	卸売・小売業	16	32	23	16	13	20
	製造業	20	9	14	13	19	15
	情報通信業	9	4	8	11	4	7
	複合サービス業	0	1	0	2	0	1
	サービス業	7	6	8	10	2	7
	金融・保険業	5	6	5	5	4	5
	医療福祉	3	3	0	3	2	2
	運輸業	4	3	0	1	2	2
	教育・学習支援業	1	1	3	3	1	2
	建設業	1	3	3	1	1	2
	宿泊・飲食サービス業	2	4	0	2	0	2
	公務（国家・地方）	1	4	4	4	2	3
	不動産・物品賃貸業	1	0	0	0	1	0
	その他（林業）	0	0	0	0	0	0
	電気・ガス・水道業	0	0	0	0	0	0

【資料 28】コミュニケーション学科学生が対象となる求人数（令和 5 年度）

求人社数	求人件数
9,403	26,412

（ウ）人間生活学部健康栄養学科

人材需給を示すものとして、本学に対して寄せられる求人社数及び求人件数を挙げる。当該学科の就職先としては、栄養士等の専門職等が挙げられる【資料 29】。以下、資料によると、令和 5 年度において本学に寄せられ、当該学科の学生が応募対象となった管理栄養士又は栄養士に関する求人については、求人社数 418 件、求人件数 770 件となっており、就職希望者 63 名に対して、企業等側からの高い需要を確認できる【資料 30】。

【資料 29】過去 5 年間の健康栄養学科卒業生（卒業時）の就職状況

単位（人）

	R1年度 卒業生	R2年度 卒業生	R3年度 卒業生	R4年度 卒業生	R5年度 卒業生	平均
就職率 (B/A)	100.0%	100.0%	97.2%	100.0%	98.4%	99.1%
卒業者数	61	72	75	72	63	69
就職希望者数 (A)	60	72	72	69	63	67
就職者数 (B)	60	72	70	69	62	67
職 種 別 就 職 状 況	その他保健医療 (栄養士・管理栄養士)	35	57	53	45	45
	販売・営業職	8	10	8	11	9
	事務職	12	3	2	7	8
	生産工程従事者	2	1	2	0	1
	社会福祉専門職	2	0	0	1	1
	その他専門的職業従事者	0	1	0	1	0
	保安職業従事者	1	0	2	0	1
	サービス職業従事者	0	0	1	2	1
	教員（特別支援学校）	0	0	1	0	0
	教員（中学校・高等学校 教諭）	0	0	1	0	0
	教員（大学）	0	0	0	1	0
	技術者（建築・測量）	0	0	0	1	0
専門職就職者数 (b)	37	58	53	47	37	46
専門職就職率 (b/B)	61.7%	80.6%	75.7%	68.1%	59.7%	69.7%

【資料 30】健康栄養学科学生が対象となる求人数

令和5年度年間求人数（管理栄養士/栄養士）

求人社数	求人件数
418	770

令和5年度年間求人数（管理栄養士/栄養士以外）

求人社数	求人件数
9,403	26,412

（4）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

ア 人間学部心理学科

収容定員を変更する組織	入学定 員	3 年次編 入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間学部心理学科	9 5	—	3 8 0	福井県越前市 大手町 3 字 1 番地 1

上記入学定員設定にあつては、前述【資料 22】のように、既設組織の入試状況において、入学定員に対し、志願者数が上回っていることから、当該定員設定にあつては合理性がある。なお、今回届出を行う編入学定員の変更については、収容定員の充足率の向上に寄与するものである。

イ 人間学部コミュニケーション学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科	75	—	300	福井県越前市 大手町3字1番地1

上記入学定員設定にあつては、前述【資料23】のように、既設組織の入試状況において、入学定員に対し、志願者数が上回っていることから、当該定員設定にあつては合理性がある。なお、今回届出を行う編入学定員の変更については、収容定員の充足率の向上に寄与するものである。

ウ 人間生活学部健康栄養学科

収容定員を変更する組織	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
仁愛大学 人間生活学部健康栄養学科	75	—	300	福井県越前市 大手町3字1番地1

上記入学定員設定にあつては、前述【資料24】のように、既設組織の入試状況において、入学定員に対し、志願者数が上回っていることから、当該定員設定にあつては合理性がある。なお、今回届出を行う編入学定員の変更については、収容定員の充足率の向上に寄与するものである。

資料目次

【資料 1】 全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）	p. 3
【資料 2】 公認心理師対応の教育課程を持つ大学（北陸圏・令和 6 年度現在）	p. 3
【資料 3】 全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）	p. 3
【資料 4】 主に社会科学系の分野を持つ大学（福井県・令和 6 年度現在）	p. 3
【資料 5】 全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）	p. 4
【資料 6】 管理栄養士養成施設（北陸圏・令和 6 年度）	p. 4
【資料 7】 全国における出生数推移（H18～R4）	p. 4
【資料 8】 仁愛大学 令和 5 年度出身高校の所在地県別入学者数	p. 4
【資料 9】 福井県における入学対象者の出生年及び出生数推移（H18～R4）	p. 4
【資料 10】 福井県内の大学への進学者数（令和 5 年度）	p. 5
【資料 11】 石川県内の大学への進学者数（令和 5 年度）	p. 5
【資料 12】 進学先の都道府県（令和 5 年度）	p. 5
【資料 13】 令和 6 年度収容定員充足状況について（既設組織）	p. 5
【資料 14】 オープンキャンパス参加状況	p. 5
【資料 15】 心理学科における競合校との対比	p. 6
【資料 16】 コミュニケーション学科における競合校との対比	p. 6
【資料 17】 健康栄養学科における競合校との対比	p. 7
【資料 18】 金沢学院大学文学部文学科入学志願動向	p. 7
【資料 19】 金沢星稜大学経済学部経済学科入学志願動向	p. 8

【資料 20】金沢学院大学栄養学部栄養学科入学志願動向	p. 8
【資料 21】収容定員を変更する組織の学生納付金の金額設定（既設組織と同額）	p. 8
【資料 22】心理学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数	p. 9
【資料 23】コミュニケーション学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数	p. 9
【資料 24】健康栄養学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数	p. 9
【資料 25】過去 5 年間の心理学科卒業生（卒業時）の就職状況	p. 10
【資料 26】心理学科学生が対象となる求人数（令和 5 年度）	p. 10
【資料 27】過去 5 年間のコミュニケーション学科卒業生（卒業時）の就職状況	p. 11
【資料 28】コミュニケーション学科学生が対象となる求人数（令和 5 年度）	p. 11
【資料 29】過去 5 年間の健康栄養学科卒業生（卒業時）の就職状況	p. 12
【資料 30】健康栄養学科学生が対象となる求人数	p. 12
【添付データ】・新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）	p. 13
【添付データ】・既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）（別紙 2-1, 2-2, 2-3）	p. 14
【添付データ】・既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（別紙 3）	p. 20

【資料 1】全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
心理学部	26	3,783	32,716	8.65	3,942	104.2

日本私立大学振興・共済事業団

「令和 5 年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向の調査」をもとに作成

【資料 2】公認心理師対応の教育課程を持つ大学（北陸圏・令和 6 年度現在）

県名	No	学校名	種別	学部名	学科名
富山県	1	富山大学	国立	人文学部	心理学コース
石川県	1	金沢大学	国立	人間社会学域	人文学類
	2	金沢工業大学	私立	情報フロンティア学部	心理科学科
	3	北陸大学	私立	国際コミュニケーション学部	心理社会学科
	4	金沢学院大学	私立	文学部	文学科心理学専攻
	5	北陸学院大学	私立	社会学部	社会学科
福井県	1	仁愛大学	私立	人間学部	心理学科

【資料 3】全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
社会学部	27	8,519	83,754	9.83	8,616	101.14

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
外国語学部	27	9,533	57,251	6.01	9,212	96.63
国際文化学部	12	2,061	11,590	5.62	1,910	92.67
人間学部	11	2,250	5,679	2.52	1,884	83.73
合計	50	13,844	74,520	5.38	13,006	93.95%

日本私立大学振興・共済事業団

「令和 5 年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向の調査」をもとに作成

【資料 4】主に社会科学系の分野を持つ大学（福井県・令和 6 年度現在）

県名	No	学校名	種別	学部名	学科名
福井県	1	福井大学	国立	国際地域学部	国際地域学科
	2	福井県立大学	公立	経済学部	経済学科
				経済学部	経営学科
	3	仁愛大学	私立	人間学部	コミュニケーション学科

【資料 5】全国の類似学部数及び入学定員、志願者数、入学者数等（令和 5 年度）

学部名	集計学部数	入学定員(人)A	志願者数(人)B	志願倍率 (B/A)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
家政学部	15	3,775	12,981	3.44	3,498	92.66
健康栄養学部（群）	12	1,190	2,532	2.13	1,061	89.16
生活科学部	8	1,697	6,306	3.72	1,821	107.31
合計	35	6,662	21,819	3.28	6,380	95.77%

日本私立大学振興・共済事業団

「令和 5 年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向の調査」をもとに作成

【資料 6】管理栄養士養成施設（北陸圏・令和 6 年度）

県名	No	学校名	種別	学部名	学科名
石川県	1	金沢学院大学	私立	栄養学部	栄養学科
	2	北陸学院大学	私立	健康科学部	栄養学科
福井県	1	仁愛大学	私立	人間生活学部	健康栄養学科

【資料 7】全国における出生数推移（H18～R4）

単位（人）

年 度	2006	2010	2015	2020	2022
	H18	H22	H27	R2	R4
出生数（人）	1,092,674	1,071,305	1,005,721	840,835	770,759

国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」をもとに作成

【資料 8】仁愛大学 令和 5 年度出身高校の所在地県別入学者数

単位（人）

	人間学部 心理学科 コミュニケーション学科	人間生活学部 健康栄養学科 子ども教育学科	合計	割合
県内	143	96	239	92.28%
県外	13	7	20	7.72%
全体	156	103	259	

【資料 9】福井県における入学対象者の出生年及び出生数推移（H18～R4）

単位（人）

	2025	2026	2027	2028	2033	2038	2041
入学年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R15年度	R20年度	R23年度
出生年	H18	H19	H20	H21	H26	R1	R4
出生数	7,324	7,191	7,139	7,042	6,166	5,306	4,861

厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成

【資料 10】

単位 (人)

【資料 11】

単位 (人)

・ 福井県内の大学への進学者数 (令和5年度)

区分	人数	割合
県内出身者	1,304 名	56.1%
県外出身者	1,020 名	43.9%
合計	2,324 名	

・ 石川県内の大学への進学者数 (令和5年度)

区分	人数	割合
県内出身者	2,705 名	41.4%
県外出身者	3,835 名	58.6%
合計	6,540 名	

文部科学省「学校基本調査」による

【資料 12】

・ 進学先の都道府県 (令和5年度)

1	福井県	1,304 名
2	京都府	517 名
3	大阪府	383 名
4	石川県	323 名
5	東京都	292 名

文部科学省「学校基本調査」による

【資料 13】令和 6 年度収容定員充足状況について (既設組織)

単位 (人)

学校名	学部等名	学科等名	入学定員	入学者数	編入学者数	収容定員	在籍者数	充足率
仁愛大学	人間学部	心理学科	95	58	1	384	328	85.4%
		コミュニケーション学科	75	66	0	304	262	86.2%
	人間生活学部	健康栄養学科	75	62	0	304	220	72.4%
			245	186	1	992	810	81.7%

【資料 14】オープンキャンパス参加状況

単位 (人)

	R1年度				R2年度				R3年度				R4年度				R5年度			
	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者	来場者	高校生	進学相談コーナー来場者	内、編入学希望者
3月	215	151	6	0	中止				156	92	0	0	166	108	0	0	231	140	0	0
6月	278	167	20	1	中止				104	64	5	0	295	160	10	0	233	122	8	1
7月	216	132	10	1	中止				142	69	7	2	261	150	7	0	257	135	10	1
8月	393	239	15	1	中止				301	174	5	2	374	235	2	0	292	174	16	0
9月	260	142	10	0	280	280	8	0	181	123	3	0	249	149	7	0	203	108	4	0
合計	1,362	831	61	3	280	280	8	0	884	522	20	4	1,345	802	26	0	1,216	679	38	2

【資料 15】心理学科における競合校との対比

区分		金沢学院大学 文学部 文学科 心理学専攻	仁愛大学 人間学部心理学科
入試（2024年度）		エントリー選抜（総合型選抜） 学校推薦型選抜/KGスカラシップ 学校推薦型選抜 一般選抜/KGスカラシップ一般 選抜 大学共通テスト利用選抜/KGス カラシップ共通テスト利用選抜 社会人選抜 編入学試験	学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜 一般選抜スカラシップ 共通テスト利用選抜 社会人入試 海外帰国生入試 外国人留学生入試 3年次編入学試験
学生納付金 (2024年度)	初年度年額（入学金含）	1,210,000	1,110,000
	2～4年次（年額）	1,020,000	1,110,000
	4年間合計	4,270,000	4,440,000
就職支援の内容（就職率）		99.7%（全学部） [2024.3卒]	95.2%（心理学科） [2024.3卒]
取得できる資格		公認心理師 学部カリキュラム 対応 児童心理司（任用資格） 児童福祉司（任用資格） 児童指導員（任用資格） 放課後児童支援員（任用資格） 司書	公認心理師対応カリキュラム 認定心理士 社会福祉主事（任用資格） 児童福祉司（任用資格） 児童指導員（任用資格）

【資料 16】コミュニケーション学科における競合校との対比

区分		金沢星稜大学 経済学部経済学科	仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科
入試（2024年度）		学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜一般方式 一般選抜大学入学共通テスト利 用方式 一般選抜一般+共通テスト併用 方式 社会人選抜 外国人留学生選抜 編入学選抜	学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜 一般選抜スカラシップ 共通テスト利用選抜 社会人入試 海外帰国生入試 外国人留学生入試 3年次編入学試験
学生納付金 (2024年度)	初年度年額（入学金含）	1,200,000	1,110,000
	2～4年次（年額）	1,050,000	1,110,000
	4年間合計	4,350,000	4,440,000
就職支援の内容（就職率）		99.6%（経済学科） [2023.3卒]	100%（コミュニケーション学 科） [2024.3卒]
取得できる資格		中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公 民）	中学校一種・高等学校一種教員免 許状（英語） 社会調査士 社会福祉主事（任用資格）

【資料 17】健康栄養学科における競合校との対比

区分		金沢学院大学 栄養学部栄養学科	仁愛大学 人間生活学部健康栄養学科
入試（2024年度）		エントリー選抜（総合型選抜） 学校推薦型選抜/KGスカラシッ プ学校推薦型選抜 一般選抜/KGスカラシッポー 一般選抜 大学共通テスト利用選抜/KGス カラシッブ共通テスト利用選抜 社会人選抜 編入学試験	学校推薦型選抜 総合型選抜 一般選抜 一般選抜スカラシッブ 共通テスト利用選抜 社会人入試 3年次編入学試験
学生納付金 （2024年度）	初年度年額（入学金含）	1,480,000	1,210,000
	2～4年次（年額）	1,280,000	1,210,000
	4年間合計	5,320,000	4,840,000
就職支援の内容（就職率）		99.7%（全学部） [2024.3卒]	98.4%（健康栄養学科） [2024.3卒]
取得できる資格		管理栄養士 栄養士 食品衛生管理者 栄養教諭一種免許状 食品衛生監視員 社会福祉主事（任用資格） フードスペシャリスト（認定試 験受験資格）	管理栄養士（国家試験受験資 格） 栄養士免許 栄養教諭一種免許状 食品衛生管理者（任用資格） 食品衛生監視員（任用資格） 社会福祉主事（任用資格） フードスペシャリスト（認定試 験受験資格） NR・サプリメントアドバイ ザー

【資料 18】金沢学院大学文学部文学科入学志願動向 単位（人）

区分	金沢学院大学 文学部文学科		
入試年度	2021	2022	2023
入学定員	180	180	180
志願者数	836	894	719
入学者数	188	196	140
入学定員充足率	104.4%	108.9%	77.8%

【資料 19】金沢星稜大学経済学部経済学科入学志願動向

単位（人）

区分	金沢星稜大学 経済学部 経済学科		
入試年度	2021	2022	2023
入学定員	270	270	270
志願者数	1,580	1,598	1,379
入学者数	268	296	281
入学定員充足率	99.3%	109.6%	104.1%

【資料 20】金沢学院大学栄養学部栄養学科入学志願動向

単位（人）

区分	金沢学院大学 栄養学部 栄養学科		
入試年度	2021	2022	2023
入学定員	80	80	80
志願者数	276	369	282
入学者数	83	88	96
入学定員充足率	103.8%	110.0%	120.0%

【資料 21】収容定員を変更する組織の学生納付金の金額設定（既設組織と同額）

単位（円）

学部・学科		対象	入学金	学納金		実験実習費	年間合計
				授業料	教育充実費		
人間学部	心理学科	1年目	250,000	700,000	160,000	-	1,110,000
		2年目以降	-	700,000	410,000	-	1,110,000
		4年間計					4,440,000
	コミュニケーション学科	1年目	250,000	700,000	160,000	-	1,110,000
		2年目以降	-	700,000	410,000	-	1,110,000
		4年間計					4,440,000
人間生活学部	健康栄養学科	1年目	250,000	800,000	160,000	-	1,210,000
		2年目以降	-	800,000	410,000	-	1,210,000
		4年間計					4,840,000

【資料 22】心理学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数 単位 (人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均
入学定員 (A)	95	95	95	95	95	95
志願者数 (B)	249	238	156	161	110	183
受験者数 (C)	247	233	155	160	109	181
合格者数 (D)	230	225	150	153	103	172
入学者数 (E)	114	99	90	83	58	89
志願倍率 B/A	2.62	2.51	1.64	1.69	1.16	1.92
合格率 D/C	93.1%	96.6%	96.8%	95.6%	94.5%	95.3%
歩留率 E/D	49.6%	44.0%	60.0%	54.2%	56.3%	52.8%
定員充足率E/A	120.0%	104.2%	94.7%	87.4%	61.1%	93.5%

【資料 23】コミュニケーション学科

過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数 単位 (人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均
入学定員 (A)	75	75	75	75	75	75
志願者数 (B)	154	170	169	145	128	153
受験者数 (C)	153	170	168	145	121	151
合格者数 (D)	154	165	162	141	120	148
入学者数 (E)	62	63	69	73	66	67
志願倍率 B/A	2.05	2.27	2.25	1.93	1.71	2.04
合格率 D/C	100.7%	97.1%	96.4%	97.2%	99.2%	98.1%
歩留率 E/D	40.3%	38.2%	42.6%	51.8%	55.0%	45.6%
定員充足率E/A	82.7%	84.0%	92.0%	97.3%	88.0%	88.8%

【資料 24】健康栄養学科 過去 5 年間の入学試験における志願者数と入学者数 単位 (人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均
入学定員 (A)	75	75	75	75	75	75
志願者数 (B)	141	84	102	75	84	97
受験者数 (C)	140	83	101	74	83	96
合格者数 (D)	126	80	96	73	82	91
入学者数 (E)	67	52	63	48	62	58
志願倍率 B/A	1.88	1.12	1.36	1.00	1.12	1.30
合格率 D/C	90.0%	96.4%	95.0%	98.6%	98.8%	95.8%
歩留率 E/D	53.2%	65.0%	65.6%	65.8%	75.6%	65.0%
定員充足率E/A	89.3%	69.3%	84.0%	64.0%	82.7%	77.9%

【資料 25】過去 5 年間の心理学科卒業生（卒業時）の就職状況

単位（人）

		R1年度 卒業生	R2年度 卒業生	R3年度 卒業生	R4年度 卒業生	R5年度 卒業生	平均
就職率 (B/A)		100.0%	98.2%	98.6%	100.0%	95.2%	98.4%
卒業者数		90	67	84	76	102	84
就職希望者数 (A)		77	55	69	58	84	69
就職者数 (B)		77	54	68	58	80	67
業 種 別 就 職 状 況	卸売・小売業	24	25	17	16	21	21
	製造業	7	3	12	16	17	11
	情報通信業	4	2	6	3	4	4
	複合サービス業	3	3	0	0	0	1
	サービス業	5	4	10	4	9	6
	金融・保険業	4	0	4	3	4	3
	医療福祉	15	8	9	6	14	10
	運輸業	1	1	1	0	0	1
	教育・学習支援業	3	1	0	1	0	1
	建設業	4	3	3	3	2	3
	宿泊・飲食サービス業	2	1	0	2	1	1
	公務（国家・地方）	0	2	4	3	6	3
	不動産・物品賃貸業	5	1	2	1	1	2
	その他（林業）	0	0	0	0	1	0
	電気・ガス・水道業	0	0	0	0	0	0

【資料 26】心理学科学生が対象となる求人数（令和 5 年度）

求人社数	求人件数
9,403	26,412

【資料 27】過去 5 年間のコミュニケーション学科卒業生（卒業時）の就職状況 単位（人）

		R1年度 卒業生	R2年度 卒業生	R3年度 卒業生	R4年度 卒業生	R5年度 卒業生	平均
就職率 (B/A)		98.6%	97.4%	98.6%	100.0%	100.0%	98.9%
卒業者数		71	79	73	76	57	71
就職希望者数 (A)		71	78	69	71	51	68
就職者数 (B)		70	76	68	71	51	67
業 種 別 就 職 状 況	卸売・小売業	16	32	23	16	13	20
	製造業	20	9	14	13	19	15
	情報通信業	9	4	8	11	4	7
	複合サービス業	0	1	0	2	0	1
	サービス業	7	6	8	10	2	7
	金融・保険業	5	6	5	5	4	5
	医療福祉	3	3	0	3	2	2
	運輸業	4	3	0	1	2	2
	教育・学習支援業	1	1	3	3	1	2
	建設業	1	3	3	1	1	2
	宿泊・飲食サービス業	2	4	0	2	0	2
	公務（国家・地方）	1	4	4	4	2	3
	不動産・物品賃貸業	1	0	0	0	1	0
	その他（林業）	0	0	0	0	0	0
	電気・ガス・水道業	0	0	0	0	0	0

【資料 28】コミュニケーション学科学生が対象となる求人数（令和 5 年度）

求人社数	求人件数
9,403	26,412

【資料 29】過去 5 年間の健康栄養学科卒業生（卒業時）の就職状況

単位（人）

		R1年度 卒業生	R2年度 卒業生	R3年度 卒業生	R4年度 卒業生	R5年度 卒業生	平均
就職率 (B/A)		100.0%	100.0%	97.2%	100.0%	98.4%	99.1%
卒業者数		61	72	75	72	63	69
就職希望者数 (A)		60	72	72	69	63	67
就職者数 (B)		60	72	70	69	62	67
職 種 別 就 職 状 況	その他保健医療 (栄養士・管理栄養士)	35	57	53	45	37	45
	販売・営業職	8	10	8	11	8	9
	事務職	12	3	2	7	16	8
	生産工程従事者	2	1	2	0	1	1
	社会福祉専門職	2	0	0	1	0	1
	その他専門的職業従事者	0	1	0	1	0	0
	保安職業従事者	1	0	2	0	0	1
	サービス職業従事者	0	0	1	2	0	1
	教員（特別支援学校）	0	0	1	0	0	0
	教員（中学校・高等学校 教諭）	0	0	1	0	0	0
	教員（大学）	0	0	0	1	0	0
	技術者（建築・測量）	0	0	0	1	0	0
専門職就職者数 (b)		37	58	53	47	37	46
専門職就職率 (b/B)		61.7%	80.6%	75.7%	68.1%	59.7%	69.7%

【資料 30】健康栄養学科学生が対象となる求人数

令和5年度年間求人数（管理栄養士/栄養士）

求人社数	求人件数
418	770

令和5年度年間求人数（管理栄養士/栄養士以外）

求人社数	求人件数
9,403	26,412

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	福井県	1,304人	56.1%
2	愛知県	167人	7.2%
3	石川県	138人	5.9%
4	富山県	97人	4.2%
5	岐阜県	68人	2.9%
	全 体	2,324人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	福井県	104.44%	103.41%	103.06%

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	社会科学系学部（大学）	101.56%	102.73%	102.70%
2	人文科学系学部（大学）	99.30%	98.93%	96.28%
3	家政学部（大学）	94.11%	95.28%	89.01%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
大学学部学科等名：仁愛大学人間学部心理学科

別紙2－1

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
（総合型選抜A0入試）	募集人数	5人	5人	5人	10人	10人	7人
	延べ人数	16人	19人	19人	16人	12人	16人
	志願者数	16人	19人	19人	15人	12人	16人
	受験者数	15人	17人	19人	15人	12人	16人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	辞退者数	16人	19人	19人	16人	12人	16人
	志願者数	16人	19人	19人	15人	12人	16人
	受験者数	15人	17人	19人	15人	12人	16人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	辞退者数	15人	17人	19人	15人	11人	15人
	入学者数	42人	40人	40人	40人	40人	40人
	募集人数	45人	39人	34人	52人	31人	40人
公募学校推薦型選抜（R2迄）	延べ人数	45人	38人	34人	52人	31人	40人
	志願者数	45人	38人	34人	52人	31人	40人
	受験者数	45人	38人	34人	52人	31人	40人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	5人	3人	2人	8人	1人	4人
	志願者数	45人	39人	34人	52人	31人	40人
	受験者数	45人	38人	34人	52人	31人	40人
	合格者数	45人	38人	34人	52人	31人	40人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	5人	3人	2人	8人	1人	4人
	入学者数	40人	35人	32人	44人	30人	36人
	募集人数	35人	37人	37人	32人	32人	35人
	延べ人数	80人	83人	48人	45人	30人	57人
一般選抜	志願者数	80人	80人	47人	45人	29人	56人
	受験者数	75人	77人	47人	44人	29人	54人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	27人	40人	16人	27人	14人	25人
	辞退者数	72人	73人	45人	41人	25人	51人
	志願者数	72人	70人	44人	41人	24人	50人
	受験者数	67人	67人	44人	40人	24人	48人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	19人	30人	13人	23人	9人	19人
	辞退者数	48人	37人	31人	17人	15人	30人
	入学者数	13人	13人	13人	13人	13人	13人
	募集人数	108人	97人	55人	48人	37人	69人
	延べ人数	106人	96人	55人	48人	37人	68人
	志願者数	95人	93人	50人	42人	31人	62人
試験／共通テスト利用入試（R2迄）センター試験	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	84人	83人	42人	35人	29人	55人
	辞退者数	64人	63人	42人	37人	20人	45人
	志願者数	64人	60人	41人	37人	19人	44人
	受験者数	59人	57人	41人	36人	19人	42人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	48人	47人	33人	29人	17人	35人
	辞退者数	11人	10人	8人	7人	2人	8人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
社会人入試	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
海外帰国生入試	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
外国人留学生入試	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人

合 計	募集人数		95人	95人	95人	95人	95人	95人
	延べ人数	志願者数	249人	238人	156人	161人	110人	183人
		受験者数	247人	233人	155人	160人	109人	181人
		合格者数	230人	225人	150人	153人	103人	172人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	116人	126人	60人	70人	45人	83人
	実 人 数	志願者数	197人	194人	140人	146人	88人	153人
		受験者数	197人	187人	138人	145人	86人	151人
		合格者数	186人	179人	138人	143人	86人	146人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	72人	80人	48人	60人	28人	58人
	入学者数		114人	99人	90人	83人	58人	89人

3 年 次 編 入 学 試 験	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	
	延べ人数	志願者数	2人	1人	1人	3人	1人	2人
		受験者数	2人	1人	1人	3人	1人	2人
		合格者数	2人	1人	1人	3人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実 人 数	志願者数	2人	1人	1人	3人	1人	2人
		受験者数	2人	1人	1人	3人	1人	2人
		合格者数	2人	1人	1人	3人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	1人	1人	3人	1人	2人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	95人	95人	95人	95人	95人	95
入 学 定 員 充 足 率	1.20	1.04	0.95	0.87	0.61	0.93
歩 留 率	0.50	0.44	0.60	0.54	0.56	0.53

3年次編入学

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員（編入学）	2人	2人	2人	2人	2人	2
入 学 定 員 充 足 率	1.00	0.50	0.50	1.50	0.50	0.80
歩 留 率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
（総合型選抜A0入試）	募集人数	5人	5人	5人	10人	10人	7人
	延べ人数						
	志願者数	9人	13人	13人	17人	13人	13人
	受験者数	9人	13人	13人	17人	13人	13人
	合格者数	9人	13人	13人	16人	13人	13人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	6人	1人
	実人数						
	志願者数	9人	13人	13人	17人	13人	13人
	受験者数	9人	13人	13人	17人	13人	13人
公募制推薦型選抜（R2迄）	募集人数	32人	32人	32人	32人	32人	32人
	延べ人数						
	志願者数	36人	32人	36人	53人	31人	38人
	受験者数	36人	32人	36人	53人	31人	38人
	合格者数	36人	32人	36人	53人	31人	38人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	10人	8人	11人	19人	2人	10人
	実人数						
	志願者数	36人	32人	36人	53人	31人	38人
	受験者数	36人	32人	36人	53人	31人	38人
一般選抜	募集人数	26人	24人	25人	34人	29人	28人
	延べ人数						
	志願者数	42人	55人	54人	34人	37人	44人
	受験者数	41人	55人	53人	34人	33人	43人
	合格者数	41人	54人	53人	33人	32人	43人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	20人	29人	27人	16人	13人	21人
	実人数						
	志願者数	30人	50人	49人	33人	34人	39人
	受験者数	29人	50人	48人	33人	30人	38人
試験／共通テスト利用選抜（R2迄）センター試験	募集人数	13人	13人	13人	11人	11人	12人
	延べ人数						
	志願者数	66人	68人	66人	41人	46人	57人
	受験者数	66人	68人	66人	41人	43人	57人
	合格者数	68人	66人	60人	39人	43人	55人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	62人	65人	55人	33人	33人	50人
	実人数						
	志願者数	18人	45人	44人	32人	31人	34人
	受験者数	17人	45人	43人	32人	27人	33人
社会人入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数						
	志願者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人
	受験者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数						
	志願者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人
	受験者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人
海外帰国生入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数						
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数						
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人

外国人留学生 入学試験	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人数		75人	75人	75人	75人	75人	75人
合計	延べ人数	志願者数	154人	170人	169人	145人	128人	153人
		受験者数	153人	170人	168人	145人	121人	151人
		合格者数	154人	165人	162人	141人	120人	148人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	92人	102人	93人	68人	54人	82人
	実人数	志願者数	94人	142人	142人	135人	110人	125人
		受験者数	92人	142人	140人	135人	102人	122人
		合格者数	85人	138人	140人	132人	100人	119人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	75人	71人	59人	34人	52人
	入学者数		62人	63人	69人	73人	66人	67人

3 年次編入 入学試験	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75
入学定員充足率	0.83	0.84	0.92	0.97	0.88	0.89
歩留率	0.40	0.38	0.43	0.52	0.55	0.46

3年次編入学

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員（編入学）	2人	2人	2人	2人	2人	2
入学定員充足率	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.10
歩留率	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.20

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数			3人	3人	7人	8人	5人
	延べ人数	志願者数		5人	6人	6人	11人	7人
		受験者数		5人	6人	6人	11人	7人
		合格者数		5人	6人	6人	11人	7人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数		5人	6人	6人	11人	7人
		受験者数		5人	6人	6人	11人	7人
		合格者数		5人	6人	6人	11人	7人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数			5人	6人	6人	10人	7人
公募制推薦型選抜（R2迄）	募集人数		35人	33人	33人	33人	33人	33人
	延べ人数	志願者数	55人	39人	41人	38人	45人	44人
		受験者数	55人	39人	41人	38人	45人	44人
		合格者数	52人	39人	41人	38人	45人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	5人	2人	0人	1人	2人
	実人数	志願者数	55人	33人	41人	38人	45人	42人
		受験者数	55人	39人	41人	38人	45人	44人
		合格者数	52人	39人	41人	38人	45人	43人
		うち追加合格者数	0人	39人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	4人	5人	2人	0人	1人	2人
	入学者数		48人	34人	39人	38人	44人	41人
一般選抜	募集人数		30人	30人	28人	24人	23人	27人
	延べ人数	志願者数	39人	22人	29人	11人	13人	23人
		受験者数	38人	22人	28人	10人	13人	22人
		合格者数	34人	22人	28人	10人	13人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	12人	11人	7人	5人	10人
	実人数	志願者数	27人	16人	27人	9人	11人	18人
		受験者数	26人	16人	26人	8人	11人	17人
		合格者数	22人	16人	26人	8人	11人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	6人	9人	5人	3人	5人
	入学者数		18人	10人	17人	3人	8人	11人
試験／共通テスト利用選抜（R2迄）センター試験	募集人数		10人	9人	11人	11人	11人	10人
	延べ人数	志願者数	46人	17人	26人	19人	15人	25人
		受験者数	46人	16人	26人	19人	14人	24人
		合格者数	39人	13人	21人	18人	13人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	38人	11人	20人	18人	13人	20人
	実人数	志願者数	15人	10人	25人	7人	9人	13人
		受験者数	14人	10人	24人	6人	9人	13人
		合格者数	10人	10人	24人	6人	9人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	8人	23人	6人	9人	11人
	入学者数		1人	2人	1人	0人	0人	1人
社会人入試	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
		受験者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
		合格者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
		受験者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
		合格者数	1人	1人	0人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	0人	1人	0人	0人
合計	募集人数		75人	75人	75人	75人	75人	75人
	延べ人数	志願者数	141人	84人	102人	75人	84人	97人
		受験者数	140人	83人	101人	74人	83人	96人
		合格者数	126人	80人	96人	73人	82人	91人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	28人	33人	25人	20人	33人
	実人数	志願者数	98人	65人	99人	61人	76人	80人
		受験者数	96人	71人	97人	59人	76人	80人
		合格者数	85人	71人	97人	59人	76人	78人
		うち追加合格者数	0人	39人	0人	0人	0人	8人
		辞退者数	18人	19人	34人	11人	14人	19人
	入学者数		67人	52人	63人	48人	62人	58人

3 年 次 編 入 学 試 験	募集人数	2人	2人	2人	2人	2人	
	延べ人数	0人	3人	3人	0人	0人	1人
	志願者数	0人	3人	3人	0人	0人	1人
	受験者数	0人	2人	3人	0人	0人	1人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	3人	3人	0人	0人	1人
	志願者数	0人	3人	3人	0人	0人	1人
	受験者数	0人	2人	3人	0人	0人	1人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	2人	3人	0人	0人	1人

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	75人	75人	75人	75人	75人	75
入 学 定 員 充 足 率	0.89	0.69	0.84	0.64	0.83	0.78
歩 留 率	0.53	0.65	0.66	0.66	0.76	0.65

3年次編入学

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員（編入学）	2人	2人	2人	2人	2人	2
入 学 定 員 充 足 率	0.00	1.00	1.50	0.00	0.00	0.50
歩 留 率	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.40

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：仁愛大学オープンキャンパス（人間学部心理学科）

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	615人	506人	①取組概要 受験希望者を対象として学科説明、模擬授業、入試説明会、各学科における研究分野の体験等、入学した後の学びを実感できる企画を展開している。 R5年度入試対象（R4開催）：計5回開催（3/12. 6/19. 7/16. 8/6. 9/4） R6年度入試対象（R5開催）：計5回開催（3/11. 6/18. 7/15. 8/5. 9/3）
うち受験対象者数(b)	418人	315人	
うち受験者数(c)	72人	49人	
うち入学者数(d)	57人	42人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスへ参加した高校生は本学の入学定員を超えており、進学意欲の向上に繋げることが出来れば、入学定員を充足することが可能と考えられる。 ③(b)に該当すると判断した基準 いずれの学部・学科にも参加可能であるため、総数のうち入学年度の受験対象となる者を対象とした。
(受験率 c/b)	17.2%	15.6%	
(入学率 d/b)	13.6%	13.3%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：仁愛大学オープンキャンパス（人間学部コミュニケーション学科）

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	615人	506人	①取組概要 受験希望者を対象として学科説明、模擬授業、入試説明会、各学科における研究分野の体験等、入学した後の学びを実感できる企画を展開している。 R5年度入試対象（R4開催）：計5回開催（3/12. 6/19. 7/16. 8/6. 9/4） R6年度入試対象（R5開催）：計5回開催（3/11. 6/18. 7/15. 8/5. 9/3）
うち受験対象者数(b)	418人	315人	
うち受験者数(c)	70人	47人	
うち入学者数(d)	48人	37人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスへ参加した高校生は本学の入学定員を超えており、進学意欲の向上に繋げることが出来れば、入学定員を充足することが可能と考えられる。 ③(b)に該当すると判断した基準 いずれの学部・学科にも参加可能であるため、総数のうち入学年度の受験対象となる者を対象とした。
(受験率 c/b)	16.7%	14.9%	
(入学率 d/b)	11.5%	11.7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：仁愛大学オープンキャンパス（人間生活学部健康栄養学科）

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	615人	506人	①取組概要 受験希望者を対象として学科説明、模擬授業、入試説明会、各学科における研究分野の体験等、入学した後の学びを実感できる企画を展開している。 R5年度入試対象（R4開催）：計5回開催（3/12. 6/19. 7/16. 8/6. 9/4） R6年度入試対象（R5開催）：計5回開催（3/11. 6/18. 7/15. 8/5. 9/3）
うち受験対象者数(b)	418人	315人	
うち受験者数(c)	47人	55人	
うち入学者数(d)	43人	53人	②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスへ参加した高校生は本学の入学定員を超えており、進学意欲の向上に繋げることが出来れば、入学定員を充足することが可能と考えられる。 ③(b)に該当すると判断した基準 いずれの学部・学科にも参加可能であるため、総数のうち入学年度の受験対象となる者を対象とした。
(受験率 c/b)	11.2%	17.5%	
(入学率 d/b)	10.3%	16.8%	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	タシロ シュンコウ 田代 俊孝 ＜平成30年4月＞		博士 (文学)		仁愛大学 学長 (平成30. 4～令和8. 3)